



源語梯

自以至加

上



多く契仲の語に於て注せり

目録

丸曜文庫

目録

源語梯辨

源語梯ハ即チ吾蘭洲五井先生ノ著ス所ノ

源語詰ナリ先生講學ノ暇ニ著述スル多シ

又ソノ餘カラ以テ本邦ノ古籍ニ及ビ萬葉古

今勢カ漁ニ語等ヲ詮釋編次シテ家ニ藏ル

ヲ數部ニ至リ源語詰モソノ一ツナリ先生ノ

没スル今ヲ距テ二十餘年余嘗テ遺命ヲ

○

受テ其諸編ヲ校訂シ。質疑瑣語非物ノ篇  
ナトハ。已ニ梓メ世ニ行ヒタレ。凡ソノ餘カノ撰ニ  
テニハイマタ及ハス。近コロニ至リ。或人無名氏ノ  
書ヲ得タリトテ。此源語梯ヲ梓行セルヲ。傳  
ヘテ閱スレハ。全ク源語詰ニテ。強テ書名ヲ改メ  
替テ。何人ニ托セシナリ。サテソノ書ヲ。本書ト  
比校スルニ。固ヨリ本書ヲ奇貨トスルヨリ出タル

ナレハ。全ク Hanson 眞ヲ失フベクモアラスシテ。先生  
ノ説ヲソノマ、用タルモ多ク。又ハ意ニ任セテ節  
略シタルモアリ。敷衍シタルモアリ。又本書ノ説ヲ。  
或人云トシタルモアリ。或ハ本書ニ有テ漏シタル  
モアリ。或 Hanson 無ヲ補ヒタルモ多ク見ユ。又契沖  
並ヒニソノ外ノ人ノ説ヲモ。増加セリ。是皆ソノ  
人別ニ見トコロアリテ。然ルニ非ス。タ、本書ノ

マ、ニテ梓スレハ掠奪ノ恐レアルニヨリ務メテ面目  
ヲ改換シツ井ニ書名ヲ変スルニモ至リテソノ痕  
迹ヲ晦ニセルノ狡計也抑先生ノ遺書ヲ吾  
黨ヨリ妄リニ人ニ傳ヘタルハナキニカク他手ニ  
落タルハイカニト推究スルニ先生存在ノ日ニ直ニ  
請求メテ傳寫シタル一人アリソノ本ヲコノ撰者  
カ子テ轉借シテ寫シ取オキシトナリ又ソノ

刊行ノ書ニハ序モアリ又附言トテ撰述刊行ノ  
大意ヲ述タルモノアリ各ソノ筆者ノ名称アレト  
モコレ又ミナ假托ニ出タル名ニテ實ニ手ヲ下シ  
タルハソノ一人ニアリト明カニ聞得タリカ、レハ速ニ  
官ニ告テ追毀ヲ行フベキモノナレトモ温藉  
ヲ欠テ余ノ欲スル所ニ非スサレハトテ偽本ノ世ニ  
行ハルヲ手ヲ袖ニシテ旁觀センハ遺編ヲ守

リ居ル余ニ於テハ先生ニ地下ニ辞ナキモノアリ書舗主人ゴノ由ヲ傳聞テ大ニ驚キテ來リ謝シコノ上ハ追毀ニ係ルトモ自カラ甘ニスル所ニテ餘言ナケレト既ニ官ニ請テ三都ニ布キ初シヲナレハイカヤウニモ是正ヲ經テ存スルヲ得ハ大幸ナルヘシト懇請ス因テ思フニ編中ノ異同ハ毛舉スベカラザレハ今サラ追正ニ及カタケレト先生ノ源語

ニ裨益スルノ本意ハイマタ失ハス和文ヲ修ムル人ニ便リスルモノモ儘ツノ中ニ在テ先生ノ餘事ノ功ニ出ル所ナレハ今ニ於テハサシテ異同ヲ尙ス本編ハツノマニ存スルヲ許シ序ト附言トヲ太リコノ辨ヲ加ヘテ世ニ告ルヲシカリ既カレハ書名モ旧ニ復シ梯ヲ詰ト改ムベケレト已ニ本書目ト同カラス又書舗モ名ヲ改ムレハ別書トナルノ患

アリト。サシク陳乞スルユヘ止。ヲ得スレテ。ワ、マニテ  
行ハシムト云モシコノ編ヲ讀シ人ノ解説ニ十分  
ナラヌ所アリ。詳畧ニ宜ヲ失ヘルモ見ユルナト。ヲホヘ  
ラレシニハコレ先生ノ真本ニ非サルヲ知ヘキノミ。

天明乙巳之夏

竹山居士識

附言

一 此書何人ノ作ナルヲ詳ニセス。或人市ニ  
閱テ購得タル所ナリ。カノ形管ノ妙境ヲ  
截斷シテコレガ考ヲ附シ。以呂波四十餘  
言ニ詞ノカシラヲソロヘ。虚辞天地器財  
ナド。十バカリニ類ヲ分チシハ見ニ人ヲシレ  
テサトスノニカ。其文カ、ニ時ノソナヘニセント



ナルベシ。世ニ此物語ノ抄物トモスクナカラ  
 ストイヘ氏猶カ、ルオモ、キナルハニエヌニヤ。  
 書肆ノ某梓行セニヲホリシ。予ニ就テ  
 コレガ校正セニヲ乞フ。予此物語ニ於テ  
 深ク思ヲ致シ、別ニ闡ク所アルニアラザレドモ。  
 假字差ヒ詞ノ重出考ノイブカシキナド。  
 ヒトワタリ刪正セザルベシヤハ、コレ紫氏ノ

堂ニ升ラズシテ、斯ニ後事スルナドノ譏ミデ  
 ニモオヨバザレハ諾ス  
 一此書ノ考ヲ見ルニ、自己ノ意ヲ專トシテ、  
 舊説ニ因循セルニアラズビトリ契冲師  
 ノ考ヲタフトミテ、湖月抄ナドハトリ用ヒ  
 ガル下意見見エタリ。レカハアレド、コトソギタル  
 異義臆見コノメルニアラズ、簡ニシテ要ア



源語梯附二

ラシヲラム子トシテ。某ハ某ノ事ナド、里  
 言モテ。ゴトワルサマイト聞取ヤスウテヨシ  
 一 此書題シテ梯ト云モノ。卷々ニス、マニ  
 梯ナルヲモチロニナリ。但コヲ目案ハ  
 印ニ似タリトイフ人アラニハシカラズ。ソハ  
 源語ヲヨム為ニソナヘゴハヨミサル人ノ為ニ  
 エラヘリ。サレバ世ニ源語ヨマズシテ。ヨミタルカ

ホモチナル人モアルベシ。サルハ輕薄兒ノ所為  
 ニシテ厭フベシトイヘ。其ノ胸中固雅馴  
 タルヲラ庶幾スルニアラズハイカテサル事  
 ヲノシラニカハル人等ノコノ梯ヨリ攀テ。  
 漸ニ卷々ノ佳境ニ入ルヲヤカテ作者ノ  
 微意ナラニカモシラズ  
 一 余方技ヲ業トスレバ。此事ニ與ラサルヲ可ト





スベケレド、所謂國津イハレ鬼ノヤムヲラ得エサル  
ニヨテ、レカスルヲ、人幸サイヒニ罪ツミセザレ

浪華黃備園主人識

凡例

虚詞 人事 天地 時候 人倫 支體 生植 氣形 服食 器財

トアル下ニハ、物語中ノ言語并ニ人ノ動作ヲ形容セル詞  
等ヲ出セリス、テ此下ニ収ルモノ多ケレバ、毎部ノ首ニオケリ  
トアル下ニハ、天ニアル日月風雨地ニアル山川水石家居  
宮殿神佛ノ事、春秋ノ時節等ノ詞ヲ収メタリ、  
トアル下ニハ、君臣父子夫婦朋友官爵等、人ノタグヒ  
并ニ頭面手足等、容貌ニカリタルモノヲ収ム  
トアル下ニハ、草木花実并鳥獸蟲魚ノタグヒヲ収ム  
トアル下ニハ、衣服冠履ノ類、飲食ノ品々、并ニ器財  
寶貨ノタグヒヲ収メタリ

已上分ツ所ノ五目、ミナ物語ノ中ニノスルモノヲトリテ、各  
其詞ノ上下ヲ截断テ其用例ヲ示シム○スベテ物語



源語梯附四

ノ詞ツカヒハ前卷ニ出タルヲ攀テ。後ノ卷々ニ出タルハ略セリ。  
タトハバいらへト云詞。桐壺ノ卷ニ出タルヲ以テ注シ。末々ノ卷ニ  
出タルヲ尽クアゲス。但同シ詞ニテモツカヒ方ノ異ナルハ間コレ  
ヲ攀テ注セリ。見ル人重出ト思フベカラズ。又詞ノ攀テ注ス  
ベクオモヘルモノ、脱落セルゾ多カルヘキコレヲハ他日ソノ拾  
遺ヲ纂テ補フベレ。凡卷々ノ名ハ一字ニ省略シテシル  
セリ。桐壺ハ相。帚木ハ帚。ナルヲ知ルベレ。○スベテノ詞  
ハ以呂波ノ四十餘言ニ配シテ収メタリ。但シカハいたハを  
ハハルニ収ムコレモ。索ヤスカラガ為ナリ。シカレモ其假字  
ニ於テハ咸クコレヲ正シテ。毫モ差フヲナシ。其他ハ推テ  
知ルベレ。此凡例ハ本書ニテキ所ナリ。目錄モ本書ヲ割截前却シテ  
サレテ本意ニ背クモノ多ク。讀人ニ便スルハツミニ存ス。但末ノ一條契沖  
ノ事ヲ載タルハ蛇足ニ削リ去ト云。

居士再識

源語梯上 自以  
至加

いか並ニ收

虚詞 いらへ 相御イラへモエキコエ玉ハス  
人事 トアリ。返卷モエシ玉ハヌし いかめし

イトイカメシウ其サホウシタルニトアリ。日本紀ニ嚴メ  
重ノ字ヲイカシトヨメリ。キツトシタルナリ

いみしき 此詞一ツ々ニ出ツ。忌ツシニ恐ル、  
ヨリ出タル詞ニテ。物ノ甚ク又嚴クニイヘリ

おはた 今ハタカク世ノ中ノフヲモ思  
システタルトアリ。今果シテしといたう

此詞モ多ク出タリ。日本紀ニ最ノ字ヲイト、ヨメル正多ナリ。  
万葉ニ甚ノ字。痛ノ字ヲ用ヒシハ假字ナリ。イトハ事ノ

①

頂上ニ至リタルシイタウハ事ノ頂上ヨリ過タルシイタクモアリ

又イトハイトクナリイトシクモイヘリ專ノ字ヲ文選ヨマセタリ

イハ發語ノ詞シ日本紀ノ驚駭トアルト別シいたづく

ノワキフヘナキモノナレバイワケナキトイヘリ

オフナクオボシイタクトアリ勞スルヲ云病ヲイタクツキト云フ

ハ痛付シ又日本紀ニ勞竭トモヨリ勞ハイタルニテ大事ニ思フ

カナドイフドレノキミシイテヤ

ト云ハイテラツヨクイフナリ

キ茂シイマト云ハイハ發語ニテマハ

目ノ義目前ノ意ナレハ今ヤウノ意カ

おだち 居ツ立いで 歸乞ノ字欲得ノ字万葉ニヨミ

ツナリいで テモノヲ知フ意シ俗ニドレイカフ

い まめかーく さまめかーく

い でむえ ナスワザ

ノ見所

アルナリハエハ常ニ業ノ字ヲヨメリ又

映ノ字ヲモ用フベシ出立ノ其所ニ映シ

シ侍ルニトアリ注ニツヨクイヒスゴス

如シトイヘリソハ殺ノ畧ナリ万葉ニ殺

グ如クナドモノ、キビ

イ

頂上ニ至リタルシイタウハ事ノ頂上ヨリ過タルシイタクモアリ

又イトハイトクナリイトシクモイヘリ專ノ字ヲ文選ヨマセタリ

イハ發語ノ詞シ日本紀ノ驚駭トアルト別シいたづく

ノワキフヘナキモノナレバイワケナキトイヘリ

オフナクオボシイタクトアリ勞スルヲ云病ヲイタクツキト云フ

ハ痛付シ又日本紀ニ勞竭トモヨリ勞ハイタルニテ大事ニ思フ

カナドイフドレノキミシイテヤ

ト云ハイテラツヨクイフナリ

キ茂シイマト云ハイハ發語ニテマハ

目ノ義目前ノ意ナレハ今ヤウノ意カ

おだち 居ツ立いで 歸乞ノ字欲得ノ字万葉ニヨミ

ツナリいで テモノヲ知フ意シ俗ニドレイカフ

い まめかーく さまめかーく

い でむえ ナスワザ

ノ見所

アルナリハエハ常ニ業ノ字ヲヨメリ又

映ノ字ヲモ用フベシ出立ノ其所ニ映シ

シ侍ルニトアリ注ニツヨクイヒスゴス

如シトイヘリソハ殺ノ畧ナリ万葉ニ殺

グ如クナドモノ、キビ

キハ子ゴいだにねらまきず 心トケタルイタニ子  
ラレズトアリ寐ニ

トスルニ寐 いむことうけなどいして

良カシラツリイムコウケナドシテトアリ いきこのへ  
尼ニナリ戒ヲサツカルコトイムコトハ戒ヲ云

たまひて 息ヲ延ルし心いといたし  
ノユルマルヲ云フ

かし 紫彼国ノ前守シボチノムスメカシツキタルイヘイ  
トイタシカシトアリ注ニ片腹イタキニトアリ按ニ

漢ノ食貨志ニ痛ノ字甚ト訓シ万葉ニモ甚いざか  
ライタクトヨメレハ最甚ト書テイトイタシトスベシ

い 去来くし事ヲ起ス詞ニテ  
サツフキミシカシハソハタル字し いとなし イトマ  
ナシ

いざたま イザタマヘヨゾカシキエナド多クトアリザア  
御出アレヨト人ヲサツフ辞ナリ

いどま 匡心フカキカタノ御イドマ  
サニトアリ注ニ挑也アツラ

意トイヘリガル人ハ又アルマビト、  
外ノ人ニクフベテオモフ意ナリ 本めるなる

スコレテメキタルケラツテバヤトアリ、未摘ノアニリ古風ナレバ  
當世ノ風俗ニナレタキトシケハ氣色シ前ノイニメカシクト

同シ詞ナレドスコシ詞ツキノカハレハ出スニヤ、  
下ニモ此ダグヒマアリ今悉ク刪シカダシ くそたび

イクソタヒ君カシマニマケヌラントアリ、  
幾ライクト云ハ氣息ノ 教ヨリ出タリ語ナリトイヘリイクラトハ何ホドト云フニテ多少

ノホドヲモ其数ヲモシラヌ詞クイクバクハイカホド、  
イフコニテ物 ノ多キヲイククト定メカ子タルクイクソト云ハイクバクヨリモ多キ

意ニテ何千何百慶いぶせさイブセサソフルヨヒノ雨カ  
ナトヨメリ。注ニ心モトナ

サヒトイヘリ。万葉ニ鬱悒ノ字シ。いなひぬ人ニイナ  
オボウカナキヒ。イブセシレヨメリ

キラヌ。ざとろイザトキビヤスル夜ノサマリト  
サマシシ。アリ。俗ニ云。夜ザトキイト。寝

ナリ日本紀ニ長服ヲイトサムゲナル女  
ナガイトヨルモイヌルコシいひ志ら房。白キ衣ノイヒず

シラズス。ケケルトアリ。エモ質。クフハマタナキ  
イハレストイフニ同シいりあやフヲウクニタル入

アヤノナド、アリ。舞ニアル舞ノいたはりのハテ、更ニ取テカヘシテ面白シ舞ヲシ

そみ葵。イタハリハ勞ナリ。癩ヲハタラカセシ詞ナルベシ。  
官ニ居ルヲ久シキ勞ナリ。但功又積ノ字ヲ日

本紀ニイタハリトヨメリ。シカラハ功ヲマウタ  
テノ昇進ヲモトメノゾムナラン。勞ヒラモ通ズいつく志

ら嚴重ナルナリイツクハ思フ。尽スノ義トイヘリ。  
シカレハ潔白ナルヲ云ナルベシ。レレシキナドいであ

らすイテハ衆語シ。左様ノフニアラズトイフニト  
注ス。契沖云。此ヤハアリヤアラズヤトイフヤニや

アノテ。三島江ヤ。難波江ヤ。ナド云ニ同レクヤモレソヘタルノニナリ  
故ハアリヤアラズヤトハ疑ヒテトフ詞ナリ。是ハ源氏ノ君ノ葵

上ヲナクサメ玉ヘルニ託ケタリ。美ノイテサニサニハアラズトイヘル  
コトバナレハナリ。カクイヒテエコ。ロエ又人ハ咄哉。非トヤライデノ

下ヘウツス。か神。掩韻。書リ。フミツ  
ベレト云んふたクリ韻。フタギナトマウノぞ

スサヒワサトモトアリ。古集ノ詩ノ韻字ヲ、イ  
フタギテ。何ノ字ト擡シテ勝負ヲスルいちイはイ也



やしき

**榎**ウヤクシキシゴハ文ノサマシ正シク  
カキテダハフレガマシクナキライヘルナリ

そぎまどはーし アハテマ、トフナリ きのまひ

菜契冲云ツレク草ニイヘルモ腹タチタルニアレハ河海  
ニイカレルスガタトアルニヨルベシ胸ノホドハレル故息ノミカ

クナレハ息ヲ巻ト、毛イモ井ト書ガラズ日本紀ニ  
齋食ヲイニヒトヨメリビハ

イヒノ茂食シニトモハいとまいるわざ ヒミノ  
ハル事

相通ナリ精進スル云 俗ニ云テキバエノセ又ナリ  
オモシロキ景色ノ所ニテ

ナ ハ哥モ出遊シテ いわけて 日本紀ニ驚駭ノ字又  
喘息ノ字ヲイワケトヨ

ヨカニズトナリ

メリスベテオトククニ喘息モオド

ロク時ハ必ズ息ノ喘モノナレバヘルニヤ いそめぐらふ

紅イキテ世ニメグリ居ルニシタフベキ人ヲサキニ い下や

タテ、跡ニノコリア生メグルトイヘルナリ

**橋**イテト云フ詞前ニ出タリ但契冲云コレハイデソレヲタマヘト

イフ意ナレバ必シカハルベキ歎哉ライテヤトヨム考ベシト云

猶前ニモ イツクノナガレモ猶  
出タリ いつ、のなにかし ウシロメタキヲトアリ

五障トテ女ニハ五ノサハリアルヲソレサハリトイハズシテ、  
ナニガレトイヘル余情タダヒナレ 案此詞 句ニ出タリ前後ス

かたうめ 東伊賀專ト書岷江入楚ニ伊賀伊勢ノ  
諺ニ媒ノヲヲタウメトイヘリ專ハ老女稱

ナリ一説ニ專ハ狐ヲ云トイヘルモ媒ガ人ヲタフラスヨソヘテ  
イヘルナリ媒スルモノソラフスルハ古ヨリアル 契注 戦國策ヲ引  
ケリニルベシ

イ

いま、かり 今マ井リシテラシカラヌナメリト、オボシテトアリ。ヤハリ今云新参シ

かゝささまなり 羽目タケキ補 い、かけ 火取

トイカケ玉フトアリ。火取ノ取ヲ いさぶき 氣觸ノ茂ナル

カケルシイハ發語ノ詞ナリ いさぶき ベレ機ニ觸ル

いざいめ 假初ノ義シイハ發語サハ狭小ノ義シテヨツト、云俗言ノ如シ。サノ字濁ルベレイサ、カト相

通フ、いませ 在又坐ノ字ヲイマーストヨメリ。今ヨ

阿リ、アラフ及ルシ注ニ マシマスニトノ義トセリ

天地時候 いよのゆげた 蟬イヨノユゲタモ冬トシカ

ニイフシ。六花集ニ。伊豫ノ湯ノユゲタノ数ハ左リハツ おなの

右ハ九ツ中ハ十六トヨメリ。スベテ三十三アリトイヘリ

いへだつ 井ナカハ田舎トカキテ。今ザイシヨ ばが 田居中ノ畧トイヘリ

いぬる 紫イヌルハ云スル ぢよ 契冲云ヨノ字ア

いたぶ 隆極草ハ

いたぶ 骨ニシヨリ

いける 音ナルベレ下ノ十ヨ年ニヤナリ ちやうと 侍リヌラントアムラオモフベレト云

いさら テトアリ。骨トハ極ニテフケルヤ子ノ わ コマヒラ云シ。アリタル家ノサマナリ

いさら イケル浄土ノカザリオトスストアリ。イケルト云ハ今ノ俗ニイキウ

いさら ワレナドイヘルイキルニテ。マコトノ浄土ナドイフガ如シ。音ニイケ

いさら ル仙ノミクニ居アリ。ウツホ物語ニ さら 松イサラ井ハ

①



源語梯上七

レシヲトアリ。ハヤクハ前カノフニテ。志レビハ志ルマヅキ。イサラ井ハ  
小井ト注ス。契沖云。日本紀ニ潦水ヲイサラニツトヨリ。六帖ノ  
哥ニ。我門ノイサラ。小川ノマレ水ノマレテ。思フ君独リス。潦ハ和  
名抄ニ。ニハタツミトヨミテ。雨後ニハカニタマリテ。レバアル水ナリ。  
然レハマレシツハ真清水ニハアズテ。増水レヨリテ。殊ニマレテ。思  
フトハツケタリ。シカレハイサラ井モ潦井ニテ。モトハ水ノスクナ  
キガ。雨ヲ便リニテマサリ。いりもみするかせ野  
ナドスルヲイフナルベシ。いりもみするかせ道  
スガライリモミスル風トアリ。風ノいりもみするかせ相五日  
ハケレキサマト注ス。茂未詳。いりもみするかせホド古  
書ニ。五ノニ字ヲイト一言ニヨメリ。イントヨムハ。いりもみするかせオトバ  
後世ノフシ。零ニサツキイツカニソイカニハアタルアリ。いりもみするかせイテ  
井トアリ。オトバ殿。いりもみするかせハオモテムキノ一問ナルベシ。いりもみするかせハ

雲岩ホヨリケ。ナビキガタキハトアリ。ツレナキヲイハントハ。無情ノ  
山ホヨリハマサリテトイヘル。ケニ勝ノ字委多ハ下ニイヘリ。此  
岩ホヨリハツレナキヲイヘルナレハ。虚辞ノ事ノ下ニコソハ。いりもみするかせハ  
入ルヘキヲ。コニアルハ。岩ホノ字ニヨリテ。此書此類ノ多シ。いりもみするかせハ  
のくらさみち法真途ニオ。いりもみするかせハのところ  
習世ノ中ノ所モ何氏思ヒ侍ラズ。タノコノ殿ヲタノミ聞エナントアリ。  
一所ハ。撰政関白ノ家ヲイヘリ。サウノ一所ヨリモ。偏ニ此殿ヲ思フト  
入倫帝家事ヲトリマカナフ女  
支体ナリ委ハひ下ニ出セリ。いりもみするかせハ  
だけ未井ダケハタカウラゼナカニ見エ玉フトアリ。いりもみするかせハ  
ナリ。井ダケハ坐シタ長カシゼナカハ。容カ長ヤウカシ。いりもみするかせハ  
のこ紅良家ノ子ハ良家トハ撰政以下ト臆ノ家ハ。いりもみするかせハ  
ナリ。紫ニヤゴトナキ家ノ子モトモイヘリ。いりもみするかせハ  
イ



ヒトイフト云くイロヲ器ノ名トスル此作者ノ一説いつへの  
アレ未詳バコレヲ刪ス但此部ニ入ルモノハ後考ヲ待

あふぎ 習今メキタルカタチニ髪ハ五重ノ扇ヲヒロケ  
タルヤウニトアリ注ニウスエフニテ五重ハリタルナリ

冬ノ扇ナリト云ヘリサゲアノ  
サニヲ形容シテ云ナルベシ

ろ

人事

ろなる

葉トヤカク論スルナキシ論  
ノ字今音ニテ勿論トイフガ如シ

器財

ろくのからひつ

相食物ヲ  
入ル器ナリ

は

虚詞  
人事

はーたなき

相イトハレタナキコト多カレド  
トアリ注ニハレタナキハヨウキ

モノニツヨクアタル心シトアリ契注云此注カナハズ枕草子ニハレタ  
ナキモノトイフ下ノヒトツニ人ヲヨラニ我カトテサレ出タルモノミレテ  
モノクルヲリナドカケリ是ニテ心付ヘレ竹取物語ニ宮ハタツモ  
ハレタ井ルモハレタニテ井タヘリトイフニ同レソレニ付テフタツノ意  
アルベシ大気ナルヲオホケナキ荒キヲアラケナレトイフ類ナレバ  
ナレハ詞ニテ無ノ字ノ意ナラ子バハレタナキモ只ハレタ歎又シタ  
ノナレト云義ナラバソレニテモ同レ意ニ其故ハハレタハ半ニ同レ  
トハハナルモノヲ五ツアリテ五ツノナキヲハレタナレト云ベケレハ  
はかなく 其年ノ夏ニヤス所ハカナキコトニワツラヒテ  
マカデナシトレ玉フトアリハカナキト云コトハ  
ニヨリテ其意カハレルヤウナレドハカトハハカリハカラフノ略ナキハガタ  
キノ意ニテハカラヒガタキノ義ニタトハ當歳鬼ニシテ死スルアレバ

ハ

ハナノ老翁ニテ堅固ナルアルガ如キヲサシテ。ハカナキ命トイヘルコト  
 人命ノハカラヒガタキヲ云ナリ。スベテハカナキト訓此義ヲ推テ考ベシ  
 はた 野分ダチテニハカニハタサムキ夕暮ノホド、アリ。野寒  
 將ノ字。又當ノ字ヲヨミセテ。サニト云フ意ナリ。万葉ニ為當也ノ  
 三字ヲバタヤト訓ゼリ。其本ハ果ト云ヨリ轉ジ。ハ助語トモナルアリ  
 はなや ハゲニソノニホヒサハハナヤカニタチソヘルモズベナ  
 ラズ。葦ヲクヒタル其臭ノ ハヤウニダ下臆ニ  
 ハツキリトキヨユルナリ 侍リシ時トアリ。昔  
 又ハ一ヘカタナド タ、ウハベバカリ  
 イルホドノナリ ナサケニテハシリガ  
 キトアリ。筆バヤニ事ヲ得タル共、 ハヒヨ  
 ニモノヲカクナリ。又ハ草ヲカクヲモ云 ヤ

貞イデミニトテハセワタルウキハシタツモノヲミ  
 セニテオカヨヒハルトアリ。ハヒワタルハ来ルハ ハヤク来ルハ  
 ちか カ、ハエクテ恥  
 やかん カ、ハエクテ恥  
 はふれぬべし コ、ハ夜ノアクルツイヘリ。今  
 俗語ニムサウサニトイフガ如シ カ、ル道ノ空ニテハフレ又ベキニヤアラシ。又  
 カ、ル道ノ空ニテハフレ又ベキニヤアラシ。又 注ニイタツラニナルヤウナ  
 ノ、ナカニハフラカシ奉リテハトアリ。 意トイヘリ。契注。ハフレハ。此物ガタリニ多キ詞ナリ。アフレ  
 意トイヘリ。契注。ハフレハ。此物ガタリニ多キ詞ナリ。アフレ ハ  
 アリ。日本紀ニ溢ノ字ヲ用ヒ。古事記ニハ波布理ト假字ニ カ、レタリ。孟津ニ放埒トアルハ。音ニテハウラツニテ。常ニモ云フ  
 カ、レタリ。孟津ニ放埒トアルハ。音ニテハウラツニテ。常ニモ云フ 詞ナリ。ハフレトハ大ニ違ヘリ。ソレニツキイタツラニナルヤウナル  
 詞ナリ。ハフレトハ大ニ違ヘリ。ソレニツキイタツラニナルヤウナル 意ナリトアルハ。俗ニ好色ナドニ放埒ナルツイタツラモイ  
 意ナリトアルハ。俗ニ好色ナドニ放埒ナルツイタツラモイ イフ。其意カゴ、ニテイタツラニナルトイハバ。此上ニカクハカナク  
 イフ。其意カゴ、ニテイタツラニナルトイハバ。此上ニカクハカナク



跡ノヨカラ **はらぎ** ハラギタナキ **はらぎ** ハラギタナキ

トアリ。サモレキ心底ナルヲ云ナリ。 **はゆ** トフニ

ハユルトアリ。延字ヲ書 **はえ** 榎 **はえ** ウチハエトアリ。契

トモカケリ。又シク引シロフシエト。此假字ウチハ **は**

ラントイフニヤト。又 **は** ム子アラハニバウソクナルモテナレナル氏

出タリ。考スベシ

考スベシ

天地時候 **は** 上ヨリオロスレドニ **は** 下ニテハナク半ニテアルト

見エタリ。半部ト書テ。部和名抄部ニ **は** カ

作レリ。日本紀ニ障子ヲシドニトヨメリ **は** カ

未 **は** ハレガクシノモトノ紅梅トアリ。 **はな** ハナ

か **は** ハレガクシノモトノ紅梅トアリ。 **はな** ハナ

柳 **は** ハレガクシノモトノ紅梅トアリ。 **はな** ハナ

十日ア **は** ハレガクシノモトノ紅梅トアリ。 **はな** ハナ

ち **は** ハレガクシノモトノ紅梅トアリ。 **はな** ハナ

タテ出シタル殿ナルベシ。諸注ニ **は** ハレガクシノモトノ紅梅トアリ。 **はな** ハナ

母屋トイヘルハオボツカナシ **は** ハレガクシノモトノ紅梅トアリ。 **はな** ハナ

ハ

東 東雅云 麓古語ニハ

ヤトト云コレナリ。ハトハ端ナリ。旧説ニハヤトハ山ノ浅キナリトイヘリ。是山ニ入ルノ深カラヌノ義也。ヤトハトハ黒ナリ。ヤトハハ山之末也。

人倫 **ばう** 相坊サダマリトアリ。 **はかせ** 博士

支体 太子ヲ立ラレ、ナリ **ばう** 病

ト書テ学者ヲ云。職員令ニ博士一人。 **ばう** 病

掌教授経業課試学生トアリ **ばう** 病

者 **はぐろめ** 未コダイノヲバキミノ御ナリニテハ

ナリ **はぐろめ** 未コダイノヲバキミノ御ナリニテハ

玉ヘレハ、ユケサヤカニナリタルモ、ウツクレクキヨラナリ **はな**

トアリ。齒ヲ添テ後、ボウ眉ノ常ノマユニナルトイヘリ **はな**

**はな** 寝サテノ人、ハミナオクレテ、ハナジロメルオホ

メタルナドヲ **はな** 寝サテノ人、ハミナオクレテ、ハナジロメルオホ

云ニヤ **はな** 寝サテノ人、ハミナオクレテ、ハナジロメルオホ

**はな** 寝サテノ人、ハミナオクレテ、ハナジロメルオホ

**はな** 寝サテノ人、ハミナオクレテ、ハナジロメルオホ

**はな** 寝サテノ人、ハミナオクレテ、ハナジロメルオホ

**はな** 寝サテノ人、ハミナオクレテ、ハナジロメルオホ

**はな** 寝サテノ人、ハミナオクレテ、ハナジロメルオホ

**はな** 寝サテノ人、ハミナオクレテ、ハナジロメルオホ

**はな** 寝サテノ人、ハミナオクレテ、ハナジロメルオホ

**はな** 寝サテノ人、ハミナオクレテ、ハナジロメルオホ

はなごころ

**はなごころ** 乙ユレモ悲ニ泣時声ノ

**はなごころ** 鼻ニ入ナリ。此ノ詞多ク見ユ

**はなごころ** 乙按ニ、今ノ世ニモ人ヲサニスレド、サ

**はなごころ** ラヌケマニモテナレ、ワキノ人ニメクバセナ

**はなごころ** ドレテ、心ノ内ニ笑フサ、ヲ云ナルベレ。

**はなごころ** 注ニ、鼻オゴメカシレトスルニトアリ

**はなごころ** 色色メキテア

**はなごころ** タナル心ヲイヘリ

**はなごころ** 生植

**はなごころ** 気形

**はなごころ** はらから

**はなごころ** 葉兄弟ナリゴハ

**はなごころ** 猫ノ子ニテイヘリ

**はなごころ** 契云、万葉ニ春鳥ト書テウグ

**はなごころ** ヒストヨメリト、ゴハウグヒスノ

**はなごころ** はこ

**はなごころ** はこ

**はなごころ** はこ

**はなごころ** はこ

**はなごころ** はこ

ヨクモアラヌ鳥ナルベシ。契云。果鳥ハ万葉第十二カホトリト  
ヨイリアサガホヲ朝果トカケリ。果ハ音カウナルヲ借テ用ヒ  
タリ。万葉ニカホトリハ第三ニハ容鳥。第六ニハ貌鳥。第十二  
ハ果鳥。又容鳥ハカキ。第十七ニハ可保等利トカケリ。然レハ河  
海ニ果鳥ヲゴドリトシ玉ヘルハ誤ナリ。又万葉ニ箱鳥トカケル  
ヨレシルサルレハ万葉ニ箱鳥ナレ。又六帖第六ニ箱鳥ノ次ニ別  
ニ容鳥ヲ出シ名バ。はなやてふや。花ヤ  
野鳥ナリト云ク。蝶ヤトカ

ケハコソアラメトアリ。是ハ文ノ体ヲイヘリ。凡流メカシテ花  
ノ蝶ノト詞ヲ艶ニカケハセストイヘルナリ。契注ニ枕草子ニ  
ミナ人ノ花ヤ蝶ヤトイソグ日モ我心  
ヲハアムソシリケルト云奇ヲ引ケリ

服食  
器財

はいぜん

相陪膳ナリキユシメスオモノ、  
カタハラニアリテ給仕スルヲナリ

はかなさこのしこしこめ

さず 紫ワツカナル食物ヲモクハヌナリ。クダ  
モノナドヲハカナキモノトイヘルナルベシ。はい

たえれ 紫ノ紙ノ年ヘニケレハハヒオクレフルメイタル  
ニトアリ。紫ハ灰ヲサレテ染ルモノナレバ古ビテ

サメタル云リ。細流ニ光ハ同事シ契云灰オフレタルト見テ其上  
ニ此注アルハハオクレタルモヲ兼タリトノ意ニヤ。シカラハハへ

オクレタルト直ニイフヘト云ク。はがためはい  
紫ノ色ノ紙ノフルビタルナリ

し 音ハカタメノイハヒシテモチヒノカ、ニツサヘトリヨ  
セテトアリ。此サヘトイフ詞ニテ優ニナレリ。モチヒノ

カバニトハロキ故ニイヘリ。齒固祝ハ元三ノ日ノ。齒ノ字ヲヨハ  
ヒトヨメリ。ヨハヒカタルノ義ナルベシ。タカツキ六本ニシレキラス

ハ



エナノ基臺ニ餅大根 **は** **ー** **さ** **ー** **たる** 唐ノ

挿ヲモルヨレイヘリ **は** **ー** **さ** **ー** **たる** 勅語

鏡ノコトバシキハレサレタルレト子ニトアリ。

此錦ニテヘリヲトリタルレト子ヲイヘリ **は** **つ** **は**

早コレハワラハヘノクヤウレテ侍ルハツホナリトテトアリ。蔵

ツクぐレヲヤリタルナリ。刻本ニハツオト書ルハ假名ノ誤ニテ。

初穂ノ義ニテ。元来新稲ヲ。神或ハ朝廷へ奉ルヲイヘルヨリ轉

ジテ。何ニテモハレメテ 献スルヲハツホトイヘリ。契云 供養ノ二字

万葉ニソナフトヨメリ。ハツホハ初穂ト。延喜式ニ書リ。又三代

実録ニ。新錢ヲ神ニ奉リ玉フヲ。所鑄作之早穂二十文

云々氏

見エタリ。

に

虚詞 **に** **ほ** **し** 相此御ニホヒニハナラビ玉フベクモアラサ

人事 **に** **ほ** **し** リケレバトアリ。契云。上ニ世ニキヨラナル玉ノ

ヲノコニコサヘウマシ玉ビヌメヅラカナル兒ノ御カタチナリト云ヲ

ウケテカケリ。遊仙窟并ニ芳葉ニ。艶ノ字ヲニホフトヨメル是こ

朝日ノニホフ。花ノ色ノニホフナト同シ。下ニ絵ニカケル揚貴妃

ノカタチハハミジキ 絵トイヘド。筆カギリアレバハトニホヒナレト

アルアト互ニ考フヘレト云々 曇 鼻ナトモアザヤカナル所ナウ子ビ

レテ。ニホハシキ所モニエスイヒタツレバワロキニヨレルカクナリトアル

モ。艶ノ字ノ義アリ。ソレヨリ人ノ身ノ時ニアヒテイキホヒノ

アルヲモ。又風景等ノウルハレク見事ナルヲモ。形容レテ云リ

二

ほひやり ニホヒヤカニウツクレトアリ。ニホヒハ

る 外ニ似ル所ノナキノ **の** **の** **の** **ち** 歸コレハニノ町ノ心

義アリ。又無ニノ義也 ヤスキナルベレトアリ。

ア町ハ専ラナル町ニニハツレニ次モノナド居ル町ト云キ  
ミニテ次ナル一ツ云俗語ナリ大切ニセヌニ通リモノナリ

げめをつらひ ニホヒサヘチヤカニタチツヘルモス  
ベナクテニゲメツツカヒテトアリ

俗ニゲレタク ラスルト云義シ にごまよ志めるほど

よりと 仏モナカク心キタナレトニ玉ヒツベレ濁リ  
ニシメルホドヨリモトアリ俗ニテ濁世ニ

アルヲ 云ナリ にくらあよもうけもら

ぬ 菜 ワレガホラ出シテニクゲニ  
独 ホコリテゴトラナサヌタイヘリ

天地 時候 に にごまれす意 達 澆季ノ  
意ナリ

人倫 支 躰 に ようご 相 后ニツゲル女官ナリニ位ニ  
位マデナリ女御ノ數ノ多クナル

始 ハ 丈徳帝ヨリ  
始ルト見ユタリ

服食 に ぎ 明 御アリサマニキヤウニ  
カキタマヘリトアリ目記ナリ

器財 い るのみす 權 ミスノヘリ  
ノ色ヲ云ナリ

ほ

虚詞 人 事 ほ い 相 本意ノ字ノ音ヲ用テ  
思フ如ニナルヲ本意ト云

志やう 帝 本性ノ字音ニテ  
ウマレツキト云フシ ほ るむ 色 ハ  
セテ

ホ

顔ニワラヒノ見ユナリ。ホハ。顔ノカタヘニテ。は、ゆづ

めて。ホ、エムノタグヒナリ。ユガメルハ正シカラスナリ。こは

の免るす。紫アラハニイハズレテ。ソレトシラスルヲ云ナリ。ほとほ

ほ。賀ホトクワラヒヌヘレトアリ。契云。アヤウキ意ナリ。

コレニカナヘリ。程。ソレトヨメル。程。はろろくせり

急心ガリヤスト云。樂名。こ。ほがな。こ。葵チヒサキ

マテモナ。ほだ。モノニツナガル、ライヘリ。コハ我

キナリ。子ラサレテイヘルナリ

はんざ。ほ。ホシサイノカタクノモノヲレヘ玉コレニ

ベギオ徳ラ。ほとほ。かりけむ

強上ノホトホドニ同レ。契云。殆ノ字ヲホトシド、ヨムハ。此ホ

トホドヲ音便ニテカクハ云ナリ。危殆ハトモニアヤウコレトヨム

ホトホドノ意モコレニ同ジ。然レハ上ノトラスニ。下ヲ濁ルナリ。

程フルヲホドノレト云トハカハレリ。ニッノ證哥。拾遺雜恋ニ

是ハ程ニト。は。夏ホウケタルナリ。タ

ヨロコブヲソレリタル詞。は。け。し。狂人ノ心ヲ

ナリ。又ホケタリ。尾イヘリ。は。愚

ホ

ナルヲ云詔ナリゴ、ハモノ、ケニテ **ほろほろ** 菜

人事ヲシラヌサミライヘリ **ほろほろ** 菜

ホロトサワグトアリ、ホロクハバラクナリ、**ほとりば**

人ノ多ク立サワキタルライヘルナリ

**み** 次ニ廊ナドホトリバミタラニスマセ奉ラントアカ

ズイトラレトモイヘリ、是ハ家ノ内ニ少将ヲオキ

テ、其ホトリノ廊ニ手習ノ君ヲ置ハイトラレキトイヘリ

天地 **ほかげ** 帰ソヒフレ玉ヘル御ホカゲイト、メテ

カゲハ燈ノ影ニアラズ、燈ニテ人影ノ **はうげ** 子

ツルナリ、又火影ヲイミヘル所モアリ

ホウゲツキクスレカラントアリ、ホウゲツキハ佛法メキテト云ガ

如レ俗ニ仏クサキナド云タハフレ 詔ナリ、クスレカラニハナツカレ

とり **よつきて** 蓬 ホトリニツキテアナヒスト

ガタケレバツキヨリ 蓬 ホトリハ側ナリ、直ニハ云

云入レサスルナリ

人倫 **ほんき** 雲 本妻ナリ、夕雲ノ北方

支躰 **ぼるぼる** 乙 木葉ノオツル

生植 **ぼるぼる** 乙 木葉ノオツル

氣形 **ぼるぼる** 乙 木葉ノオツル

◎

服食 **ほろぼろ** 末 幼少ノ貴女ノキルモノナリ

器財 **ほろぼろ** 末 幼少ノ貴女ノキルモノナリ

サクラ色ハオモテウスク、**ほん** ホニカキテトアリ、手習

ウラハコキスハウナリ **ほん** ノ手本ナリ、梅サウビ

モノヤカテホニモ **はろびつ** 野ヌリ補ナドノ類カ綿ヲカケテ

ムレリナドスル **はろ** 橋サヤカニオレニキタルホクドモノカビクサキトアリホグ

ハモノカギレフルキ紙ナリ。ホグトカキテホニグトヨムナリ。トリヲサメオキタル故カビクサキナルベシ

へ

虚詞 **へんつぎ** 橋契云ノルクカキタル本ヲモテ。櫻井刑ア入道素丹トイヒシ

人事 **へんつぎ** 人ノ講ビレラキタル本ニキモ。濁レル声ヲサレテ。篇統トカタハラニカケリ。サレクハ偏統トカクベキナリ。タトハ本

偏ト定メテハ。太偏ノ字ヲ旁ヲオホク立案ジ出セルラカチトスルヤウノコナルベシ

天地 **へんぐちめきて** 良昔アリケニモ。へニグエメキ

時候 **へんぐちめきて** テウタテ思ヒナゲカレシトアリ。へニグエハ変化ナリ。ケラグエト唇ハ直音ト拗音トヲ假名ニツカヒ分タルナリ。開音

ノ字ニ直音ノ假名ヲ用ヒ合音ノ字ニ拗音ノ假名ヲ用コタリ。凡ソ物語類ニ此例多シ。眷属ヲクエニツク。法華經

ヲホクエキヤウ源氏ヲグエニシナトイヘリ。コハ源モ夕白ハフヲレリ玉ハ夕白モ源ナルヲレラ子バケモノニレキト夕ハ

ムレテ **べちなう** 注ニ別納ト唇テ別ノ屋ニイヘリ。レカラバナアノ假名ナラシ

人倫 **へいちう** 末平仲ハ平ノ直ノ文ナリ。アヤマリテ顔ニ墨スリレフ。大和物語

支幹 **べいぢう** 二見エ **べいぢう** 采陪従ト書リ。注ニ東遊ノ奇人ナリ。近衛兵衛ノ官人ヲ召テ

①

其役人トス石清水賀茂

ノ臨時ノ祭ノ時ノコトナリ

服食  
器財

へい

瓶子トトラセテト  
アリレヤクトリラズ

こ

虚詞  
人事

とさめ子

相スクレテトキメキ玉フアリケリ  
アリ時ニアヒタルセラヘリ

とみや

頓ノ字音ノ轉ザルトイヘド疾ト云  
詞ノ轉セルナルベシ速ニ其マナルコト  
の

か

殿ニ居ルノ義ニテ宮仕ハスル人番ノ日ハ御殿ニ居ルハ  
ナリ一説ニこのハト昏テ殿寐ノ義トイヘルハ未穩ナリ

とより

歸此人ヲレリニ思ヒトメ侍ラズ  
イヘリ終ニ此以テ妻ニセントハ思ヒ定メ

ズ俗ニモオモヒモノ  
トナシテオカニトナリ

とばかり

トばかり月ヲミルト  
アリトばかりハ時許

ノ畧ニテレバレノ意ナリコトニ時トイヘルハ暫時トム  
義ニテ年月ノ長ニ對シテ云ナリ一時ノ久ヲ云ニアラス

うとな

又どうかなマモアリ動ノ字ノ音  
ヲ用ヒテ身ヲ静ニシテ居ルラズ

ナル  
とさ

聲トリ  
とさ

まかうさ

貞トサカウサニツケテトアリ  
契云東西ノニ字ヲ日本紀ニ訓

とぢむま

葵トチハ終リラ  
云止ナリゴハ

ヤムニジキ  
トイヘルコト  
とく  
明入道ハカノ國ノトクイニテトシゴ  
ハ口相カタラヒツレバトアリ得意ノ人

ト

トハムツミレキ 零貴人 ところるせき、さ、ぬ 高位ホ

トミタリニ出ルノナリガタケレバ、所セキトイヘリ。下々ノ身分ノ自由ナルニクラフレバ、所セバキトイフベシ

と 一 卯 乙年満ルノ茂ニテ、年賀ライヘリ。四十二ニミチ、五十二ニミツルナド、契云。

蜻蛉日記ニ、ハヤトシニラゾシ玉フナド、オホヨソ此詞猶見エタリ。ゾレハ精進ノ後、魚ヲ用ルコノヤウニ見ユ。猶考

フベシ。土佐日記ニモ 年 斎節 斎トアリ とりのゆれてつき

トリノユノテツキ、イミジウツクリタルモノ、コ、チスルヲトアリ。サウノコトヲ引時、左ノ手ニテ緒ヲオステツキナリ

とぢめつは 薬オモキ病者ノ、ニハカニトヂメツルトアリ。是ハ人ノ死スルライヘリ

人ノ死スルハ、生ノ アヤシク トヂメナレバナリ とりのすはこと 人ノサエ

ハカナクトリスルコドモ、モノ、ハヘアリテ、ニサル所ナルトアリ。契云、人ノサエモ、サリ、ガナクトリスルコドモ、ニサリ

テ、アヤシクモノ、ハヘアル所ナルトナリ。アヤシクトハ、イカナレハカ、ルゾトアヤシム意ナリ。トリスルハ、人々ノ心々ニシ

タガヒテ、或ハ手カキ、哥ヨミ、琴ヲワゴン、琵琶ナド、一事ヲ執スル意ナリ。ハカナクトハ、ホザリニスルヤウノコ、ロナリ

とく 東トクイカメシウナドアレハトイヘリ。財宝ヲサレテトクトイヘリ。得ノ字ノ意ナルベシ

天地 乙アメニミストヨラ カビメトアリ。注ニ とよをかびめ

天照太神ヲ申シ 梅外ヘヨ とよ 奉ルトイヘリ とよりて リテナリ

①

よつゆき

葉友待雪ノホノカニ残レル上ニトアリ。注ニ消ノコリテ。又フルベキ雪ヲ待シ。

契云家持集ニハ白妙ノ色ワキカタキ梅ガ枝ニ友待雪ヲ

満ノコリタル貫之集ニ梅ノ花サクモレラスヤニヨレノ山ニ

友ニツ雪ノミユラニ詩人玉屑ニ残雪ノコニ待伴ヲイヘル

ハゴレラニヨクヨレルコナリサレド待伴羞明ナトハ俗語ト

イヘリ唐ノ世ヨリアリケル詞ニテ此国ニモと一七

ツタヘテヨメルカオノヅカライヒアハセタルニヤ

せめつま 年ノ暮ラム 年ノセムルハ

服食 器財 どん志 桐ツクニイヒト云ヘリ下

ナル 器財 とろろ 帝トウロカケソトアリ。とば

りちやう トバリハ外ニハルモノナリ。チヤウハル と

こ 紫獨鈿ハヒジリ御 とれわたの、ぬく

ろ 御契云トノ井モノハ夜ノモノナリ。其フクロハ俗ニ云

番代衣ナリトノ井スル人初ハ多カリケレバモテクルト

モテ帰ルトオホカリケルガ世カハリテ源氏ノ威勢オト

ロヘタレバトノ井人モハカクシウハナクナリテユキカヒシ番

クロモ見エズトナリ後撰ニサタガトノ井モノヲトリタガ

ヘテ大輔ガモトニモテキタリケレバ大輔フル里ノナラノ都

ハレメヨリナレニケリ氏ニユル衣カ返シ雅正フリヌトテ思

ヒモステレカラ衣ヨソヘテアヤナ恨モツスル又或説ニ赤染

ト



人ハトガメン返シ宿カセバ床サヘアヤナ女郎花イカテウツレル  
香トツコタヘニ又宇治拾遺物語ニ平貞文が本院侍従が  
局ヘレノヒタル所ニ云局ニ行タレハ人出キテ上ニナレハ案  
内申サントテハレノ方ニイレテイ又ニレハモノ、ウレロニ火ホノカ  
ニトモシテトノ井モノトオボレキ衣フセゴニカケテタキモノ  
レメタルニホヒナベテエナラスト云是ハ夕夜着ノナリ

補

イヨリトマテ。巻ノ次第ニテ  
シルセリ。モトヨリ部類ヲワケズ

とあまのばか、ア

歸トアレハカリアフサキルサニト  
アリ。ユチラガヨケレバアチラガア

シク。物ノ行違ヒテ。思フヤウナラヌヲイヘリ。古今ニ、  
ソコトテトスレハカリカクスレハアナイヒシラズアサキルサニ、  
ヒサウナキイヘトウジノピトヘニウチトケタルトアリ。  
ヒサウハ負相ナリ。家トウシハ本妻ヲ云ナリ。注ニ負

相ナルナリ。キノ字ハ添字ナルベシ。此類詞ニ多キ歟。契云。無美  
相。主人母ト云ナルベシ。遊仙窟ニ主人母ヲイヘトシト云セリ。六  
帖第五ノ題ニ家童子ヲ思フトアルヲ或人流布ノ印本ニ他ノ  
カキ本ヲ以テ校合シタルニハ。假名ニテトジトアリ。日本紀第十三  
ニ允恭天皇ノ后。忍坂大中姫イマダヲトメニテ。母ノ御許ニオハ  
シ。レケル時。鬪雞造ト云スモノ、トジト呼マ井ラセケルヲ。バラタ  
チテフツク。玉ヘルヲアリ。ソコニ戸。毎此云。親自トアレバ。家ヲミカ  
ナヒラサムル以上ノ老女ヲイフ。故ニハラタ。セ玉ヘルナリ。和名ニ負  
ヲカ自トヨム所ニテクハシ。万葉集第四。坂上。郎女ガオクル哥。ニワ  
ガ子ノカ自トヨメルハ。老必ニ通ジテイヘル。家童子トワロク心得タ  
ルヨリ。六帖ニモ後ノ人ノ真名ニカケル歟。トジトウジトイヘル。昔  
便ナルベシトジトハ。家ノナリ。主ノ上。畧ナリ。古ノ例  
家内ノハ。其家ニテ第一ノ女トリハカル。故オモ。タチタ第一ノ  
女。主トイヘリ。ソレヨリ。轉シテ家ノ字ヲソテ。本妻ノトセル。

補

いひたやー

ハヤレハ榮アラスナリ。エアノ及ヤナレバ。ハヤストツメタル詞ナリ。今モ證ラウタ

フヲ榮アラサントテ。鼓笛

いざや 万葉ニ不知ノ字ヲイサト

トヨソヘルヲ。バヤレト云是

ヨセタリ。イザハ石ト云ニ

同レク。ヤハヨニカヨヒテ。疑ノヤニアズ。發語ノ詞ニ多用

ハ イト答ル辭ヲムテ。イラヘト云ナリ。唐土ニテモ。人ニ答ルニハ唯

和語此タグヒ少カラズ。ヨク考スレバ。ソノ

ト云。其唯ノ字音ヲ和語ニ用ヒタルニアズ。自ラ通ヒ合タル

ナルモテナレナリトアリ。契云。

放俗ナルベレ。ハラ清ソラ濁シ。ほのぶら 注ニ衡黒ヲホ

タリ。契云。此字何ニ出タル心得ガタレ

日本紀ニ。凌晨ヲホノグラレトヨメリ。はなうちか

み

契君モタビクハナウチカニテアリ。契云。心ニカナレヒ出

書曰。浪和名須々波。示鼻液也。文字集

いのめ土う

波イトイカメ

アリ。契云。日本紀ニ。嚴又重ノ字ヲイカレトヨメリ。事ヲ嚴重

ニスルヲ。常ニハイカメレウスルトモノニモカケリ。瞑恚忿怒等ノ字

ヲ。イカレトヨムモ。イカレニ下ハ通フ歎怒

潮怒浪ナドイヘハ。此イカメレウハイカレ心歎

補

の 河海ニ粉白氏トアリ。契云。和名ニ。粉名云。粉粉和名。閑迹

經赤也。深使赤所以着類也。今按。經即禰字也。又云。文選好

色賦云。着粉則太白。和名之路岐毛能。粉ハシロイモノナルヲ誰モ知レルヲナレバ。文集ニ頼粉トアルヲ。河海ニヒカレタルヲ。重テ引トテ。頼ノ字ヲホトセル。梅契云。百第十三ヲトメラガ。欽考フベシ。ほそびつ。麻笥ニタレタルウミヲナス。長門

ノ浦ニ云。此麻笥ノ事カ。細流ニヌリヲケナドノ多クヒカトアリ。ヌリヲケハ塗麻笥司ナリ。漆ニテヨクヌルハ綿ナドノカ。ラヌヤウトテナリ。い。こ。ま。く。細流ニイソガレキナリ。契云。日本紀ニ勤心又

紀ニ取勤臣之義。賜姓伊蘇志臣トアリ。イソガレキト云。詞ハラウガハレキヲイハハ。叶ハヌナリ。但事ヲツトムルニイ上。ナキ意ニテイソガレキ名付タラハ。モトハ。同レ詞ニテアルベシ。い。む。こ。と。菜。出家之途。以戒。ろ

なり。推。イロナリトカイフメル。ビス井。タチテトアリ。イロナリハル。リイロラ書アヤレルニヤ。翡翠ハソビトテ。ルリ色ニミ元鳥也。

俗ニカハセウビト云。古事記ニハ。翠鳥トカケリ。和名ニソビ。尾ソニトモイヘリ。鳩ノ字ヲヨミタリ。いたちのこ

べらんやうなれ。東契云。イタチハ其性サワガレクテ。カ。リクモノナレバ。浮舟ノ母ノ。浮舟ヲ思フノミナラヌ。常陸守ヤ。子ドモカ心ヲモ取ラント。レテ。コナタカナタ。シリモスエズ。心モソラナルヲイヘリ。

い。さ。と。け。花鳥ニサトクシキ。用心スル意。し。花ニ物。サトキ心。契云。イハ。寝ナリ。子。ギキライギタナ

レト云。バ。目ノサマテイギタナカラヌ。イノサトキト云フ。俗ニメ。サトキ人ヨ。サトキ人ナドモイヘリ。花鳥弄花トモイノ字ヲ又セ。ラレヌ。イ。か。さ。は。ま。手。孟津ニ威攬。河海ニ辛。イカ。イ。か。さ。は。ま。ノ字ヲヨミセタリ。契云。イカラ

補

レトイヘルニテ。瞋ノ字ナルベシ。威攬ハ殊ニ暗推ト見エタリ。威ノ字ノ音ハ。為ニテ伊ニアラヌ上ニ音ト訓トアラセテ。威攬トハ



天地時候

ちりむこ 塵ノツモ ちかき志

ちのほ 蓬 其家ノカニヘホドナリシメトハ 領スルヲニテ我領スル家ノ間ヲ云ヘリ

人倫 ちやうふう 神子ヤウハ長 ナリフソウシハ奉

送使ナリ。奈宮ヲ伊勢へ送ル使ヲ云ヘリト ちえだつねのり テ

比ノ上手ニスメル千枝常則 ナドシテトアリ。絵師ノ名ニ ちぬ 乙父主 ナリ

ぬ 菓乳母 ヲ云ヘリ

服食 ちよころあらめ 帯是ハ基ヲウ ツトキノコナリ

子ハ持ナリ。今云セキニ ちす 柳 性子ハ各囊ナリ。コハ経ヲ入ル。 ゲツナリ。チヌハチツノ音ノ轉スルナリ。

悞算ノ幾トオモヘレハアヤマリナリ ちうさす 乙チウサスヲ ウヒクシク

ナリニケリヤトノ玉ヘド、アリ。注ニ柱ナリ。琵琶ハ柱トイフ。 箏ニテハコトヂト云又左ノ手ニテオスコトモイヘリ ち

志 菓注ニ唐造ニ縁ヲサシタルナリ。又ハ糟ノタダ ビナルベシ。ヨロツノ物ノ下ニシクヘキ用ナリト。按ニ人

ノ往来スルタメ歎。今モ貴家ニ大礼ノ時。 ちん乃

かけむ ダイナリ。今ノ 足ウチノゼン

り ④

りんどうせまつり

帯リニシノニツリノテウガクニ夜フケテイニシウミゾレ

フル夜トアリ。加茂ノ臨時ノ祭ナリ。臨時ノ祭ハ宇多帝ノ御時ニ始ル。十一月酉日ナリ。調樂ハ其前ノ午日内裏ニテアリ。江次第等ニ委レスベテリシトハ之リタル外ノコヲスルヲ云

ベハ女ノモノヤハラカニカキナラシテトアリ。律ノ調ハ飛鳥井ノ律ノ哥ナリ。此コロハ十月ナレド。哥ニヨリテ秋ノシラベニナレテ琴ヲヒケルハ今宵ソ月秋ノオモカゲアレバ似ツカザルニハアズトイヒテ。又下ニ笙ヲ盤ハシヲシラベタルハ冬ノ調ニアラタメシ

ぬ

虚詞 人事

ぬかざく

原ヌカハ鏡ナリ。拜礼スルニヒタヒラ地ニツクルヲ云

ぬ

すよえれいよ

末イソガハレキ中ニテ開又スムライヘリ。契云。万葉集

十一心艾下タセル君ニ何ヲカモイハズイヒシトワガ又スハニ又山川ニウヲセオキテモリカヘ三年ノヤトセラワガ又スハハぬれぎぬ 賀 魚キ名ノ立ヲ云ナリ 雲 又レギヌ

ニ菅家アメノシタノガル人ノナケレバヤキテレ又レギヌヒルヨシモナキ 藤 常人ニスグレタルニ 抜 羣ナドイフガ如シ ぬ けたりけ

るおんころ 藤 常人ニスグレタルニ 抜 羣ナドイフガ如シ ぬ ける

みて 菜 御身モスルミテトアリ。契云。河海ニ小町集

ユルカナ。案ニ小町集ニハ二三ノ句ワレガ思ヒニアハ又夜ハトアリゴレハオモヒヲ火ニナレタレバ又ルミテト云。詞イハレタリ。河

又

海ハ誤テヒカレタルベシ。万葉ニ又ルト云。詞ニ少熱トカケリ。又ルシト云。爰訓ヲ借レリト。コハ思ヒヨリ熱氣ノ出ルヲ云ナ

天地 ぬりごめ 神注ニ府庫ナドノ類トアリク

時候 ぬりごめ ラハ土ヲ以テヌリコムル故ニヤ

人倫 ぬりごめ 末我トシラレシトヌキアシニア

支体 ぬりごめ ユミノキ玉フトアリ。足ヲスラズ

ニ足ヅ、アゲ テアユムヲ云シ

服食 ぬさぶとろ 菓春ノタムケノヌサフクロニ

器財 ぬさぶとろ ヤトオボユトアリ。ヌサト云ハ

る るりれつろ、梅瑠璃ノ盤シ

を をね併収

虚詞 ねほかた 相大ノ字ノ義ナリ。所ニハ

人事 ねほかた ヨリテ大抵ノ義モアリ

た オモテダチタルト云意。こ、かし

オ

子 オカシト云ハオモムカシノ義ニテ。オムカシ。オモカシナ

ト云ヨリ 轉シテ。オカシトナリタルニテ。面白ク思フ

所ニ打チラシテ。道ノ神ニ手向テ行ヲ云ナリ。ヌサハアサノ轉語ニテ。麻シ。上代ハ麻ヲ用ルニヤ

「ニイフ」詞ナリ。と「〜」ト書ルハ可笑ノ字ヲ。真名伊勢物語ニヨメリ。又東鑑ニ事咲ヲコトヲカレレヨメリ。オカシヲカシ其本ハ異ナレ。後ニハ混ジ用フ。双紙物語類ニ多キ詞ナレ。其所ニ随テ解スベシ。 **ねしふ**

**べたらぬ** ナミクニニ **ねふふ** おふな ニツ

久キ御アソビヲアフナク。オホシイタツトアリ。注ニ子ニコナルト云。真名伊物ニ随分ノ字ヲヨミセタリ。其分限ニ随テ事ヲ 尽スハ子ニコ

**ねよすけ** コノミコノオヨズケモテオハストアリ。注ニ万 ニ助及ト各オトナビタルナリトアルヲ契

云万葉ニ助及ノ言ニタクナシ。不可用ト。 **ねほつか** 云。詞ノ義詳ナラズ。オトナレキサニ

**なぐ** 鬱悒ノ字ヲ。オボツカナレ。凡イブセレ。凡ヨメ。こほ リ。コ。ロ。モ。ト。ナ。ク。タ。レ。カ。ナ。ラ。ヌ。ヲ。イ。ヘ。ル。詞。ニ。オ。ホ。

**やれごもり** アル時ハオホトノゴモリスグレテトアリ。オホトノ御殿ナリ。ゴモリハ物ヲトダ

テハスナリ。イヌル時ノサニナリ。 **ねほし** 志

**む** 思ヒ鎮ムルナリ。心ヲヲサメテ **ねもひねん**

**せめん** 子ニ念ノ字ナリ。音ヲ用テ心ニフカクオモ フナリ。又コラユルコヲ子ニジテ。凡イヘリ **ね**

**たち** オシタチカドクシキトアリ。ワガ思フ。こも コヲハバカラズオコナヒテ。柔順ナラヌ。こも

**ひどち** 両方トモニヨク思フ **をささむ** ナリ。ドチハ共ノ字ナリ

**すく** 上モヲサク人 ズクナニトアリ。長外ト云。義ニテ。専ナル意ナリ。又頗ノ意ニ

㊦



用ル所 **木のぼ志**、オノガジ、ウラメレキフリノト  
モアリ、アリ、オノガテニト云意ナリ、自

分ノ心カラウラ **木のぼ**、ヤゴトナクセチ  
メシキナリ、ニカクシ玉フベキ

ナドハカヤウニオホソウナルミヅレニウチオキチラシ、玉フベクモアラス  
トアリ、オモテムキナル御厨子ニナリ、契云、オホカタト云ニ似タリト。

或説ニオホゾラノ誤ナレハ、大空ハトリジニリナキ心ニイヘリ。  
ト、紫式部曰、記ニ心ニクカラント思ヒタル人ハ、オホゾラニテハフミ

ヤチラスラントアルヲ **木のぼ**、ウチオホトキワカヤ  
モ思ヒ合スベント云、カニテニギル、ナキ

ホドトアリ、ウチハ詞ナリ、オホドキハ大人メキ **木のぼ**  
ト云詞ナリ、俗ニオホヤウナルト云ニ同ジ

の **をこかま**  
フミヲカケトオホトカニコトエリヲシ  
トアリ、オホトキノ同シ詞ニテ、大ヤウニ

ヲコハ **愚ナル**、ツレムベキヲツ、レニヌハ、ヲコタリナレハ

不礼ナルヲ **木のぼ**、ウチオホトキ **木のぼ**、ウチオホトキニミ  
ガニレトハ助辞ナリ、**木のぼ**、ウチオホトキニミ

ニヤオモハント、アリ、他人ニ見エハ面目ナクヤアラント、云フ  
ナリ、後撰ニカガセ、老モカクレ又此春ハ花ノ面モ伏ツヘラン

**木のぼ**、オドロクシクツクリタ  
メニニエ又鬼ノカホナド

ルモノハトアリ、オソロレキ心 **木のぼ**、オドロクシクツクリタ  
又オドロクサニニモイヘリ、**木のぼ**、オドロクシクツクリタ

チエンズルニカクオゾレクハトアリ、  
今モ **木のぼ**、オドロクシクツクリタ

ニモナリ必レオトナビニソヘテアリ、コハ其  
身ノ時ヲ得テ官位昇進スルニテイヘリ **木のぼ**、オドロクシクツクリタ

①

ぬすぢらよて

女ヲサメヌスギニテトアリ。こご  
エコヲヘヌ心ニテスサレヌオナ

く

フドケキニオダシクテトアリ。おぼ  
オダヤカニ心ヤスクテトナリ。おぼはめ

く

サダナラズホノカナル意ナリ。後拾遺ニオボ  
メクナ誰トモナクテヨヒクニ夢ニ見エケン我ソ其人

よころ

蝉前ノヲガミレノヲト同義ナルベシ。説ニ後漢南  
蛮傳ニ鳥辭ト云國人ノヲカレキセニヲ

たひまどはして

良オヒドハシテナノメニ思  
ヒナレツベクバトアリ。契云オ

ハ跡ヲ追ヒ尋ルナリ。たもたは  
ニドハシテハ尋子ニドナリ。たもたは

貴人ノスカ  
タオゴソ

カナルヲ  
イヘリ ねふけなく

注ニ我ニ似合サルヲ云トアリ。契  
師ハおほけなくト書テ大氣

ト云ノミニテナクハ添タル詞ニテ。毎ノ字ヲ義ニアラスアラキヲアラ

ケナク。又イハケナキ。ナド云ナクト同例ナリトイヘリ。又一説ニ真

名伊物ニオフナク。ト云詞ニ随分ノニ字ヲ用ヒタルモ其身ノ分ニ

随フホドノ賈物クニミテ。ホドニツケタル人ヲ悉シト云。然レハ野

影ト云フ義ニテ。オシツミミナリ。

身ニ過スル重荷ト云。オシツミミナリ。

クムトヨメリ。俗ニセイダシテたは

包モ含義シ。たりたちて

えたるるところあり。オホエトハ似タル云。小女ノ顔

たこなひのらう。注ニ行ソ旁トイヘリ。案ニらうハ

らふノ假名臘ノ字ナルベシ。オコ

ナヒノツモレルヲ臘ト云。末コトニ男

臘ハ年ヲヘタルナリ。をところたふ。秋ノルベケレ

⑦

契云日  
本紀ニ  
字措ラ  
トヨシ

トアリ。年始ノイハヒノ奇舞ヲ禁中ニテ殿ハにハな

上ノツトムルナリ。聖武帝ヨリ始ルトイヘリ。ねもな

れとゆや賀面目ナキヤウスねもなたちて

其事ニ深ク入ねど〜ふ〜と何事ゾ出来レ

タチタルナリ。レテクルレメント思フ。ねほどけとることと

大解ノ義ニテ。物ニ松ヲサルヨリイカト。を、〜、〜

癸ウスラカニ衣更シテヲ、レクアザカニトアリ。日本紀ニ雄略等ノ字ヲヨミテ。男ヲレキセラ云。ね〜こ

リて。女房三十人バカリオレコリテアリ。一乃ニ人ノ集リタルニ。疑集ノ義カ。ねとてお

こ〜  
契云。オモテフセト云ニ引カタル詞ナリ。仲文家

我ノミゾセニ取ラ。集ニアガ仏カホクラベセヨゴクラクノオモテオコシラ

ス。クノモイヘリ。ねいのひがみ。年老テ心

はめく。里契云。後於送ニ。斎宮女御。夢ノゴトオホソ

カナラズホノカナ。カレ行世中ニイヘトカムトカ音ツレモセヌトサダ

ルコノロナリ。をちかへり。ヲチカヘリ。エマシノハレヌ

ハ。万葉ニ百子反ト書リトアルヲ契云。万葉ニニタク百子反ト

イフ詞ナレ。五百重山八百日行濱。トイフ時。百ノ假名ハ保心

ヲ。遠帰鳴ノ義ナルベレ。行テハモドリ幾度モ鳴。ねい、ち

らへる。老人ノサミヲ云。ねやが。零親ガホヲスルヲ云

案ニガリハ。摺ノ義ニテ。

⑦

北山抄ニ擬大小領ノ類ノ類ノねれがみ、よつけ

字ヲカリトヨムガ如クナルシ蓬ミ、ハ蓬ねれもの縁フカキ勞ナク見

レモノハオトレルモノナリ。深く精ヲ出サ又故ナリ。又物ノ半

折タルが如ク。何ニモタラ又ハシタナルヲ云意ニヤ。レカラハを

ノ假名契ねだトアリ。オダヤカニ人母マニテイリねびとね意欲トアリねひすがひ

乙注ニ追スガフシズガフハ遊ナリ。ガフノ及リグニテスタハツダ

ナリ。コ、ハラサナキ男女ノタガヒニ二年ノヨキメアハセ時分ニテ

ルヲオノツカラヲレタルコソイデをクベカメレトアリ。思ヒヨフ又れたる云リこと

トライヘリ。今俗ノガノヲレタル注ニ臆病者ノコトねとね匡是八田ねとね舍詞ナリ。

スイカ猶考フベシといさわをとなをとなをとな

ヲ、サヤウナリトイヘル意ナリ。又ヲイ

ヤキ、シ人ナリトアルモ、唯ト忘ル心心ねとね心ねとね心

心ヲサナクモカヘリミセデトアリ。契云。日本紀ニ不賢不敏不肖

不敏等ノ字ヲ。ヲサナレトヨメリ。ヲサレレキ心心ソナキヲ。ヲサナレト

イハポロカナル心心イトケナキ心ねとね心ねとね心

子ヲ。ヲサナレト云モ亦此心心ねとね心ねとね心

サレモフカキ御心ナカリケルヲタニオトシアブサズトアリ。ア

ブサズハ不溢ズノ字ニテ。人ヲイヤレメズ。アリタルトテモステ

ラ

又心心ねとね心ねとね心ねとね心

トアリ。注ニオロカナル心

トアリ。前ノヲレモノト  
別ナルヤ詳ナラズ  
を  
れ蝶花ニヲレツトアリ。秋ヲヒ  
ク人モ此春ノ花ノオモシロキ

ニハ心モヲレテ春  
ヲヒカニトイヘルナリ  
ねほおほし  
夏夏タツカ  
レ時ノオ

ボクレキトアリ。オボメクナリ  
人カホナトノハツキリト見エヌ  
ねぢころ  
ト

野オダハオソル。こ。ゴウ。ビテハ。困ノ字。音ニテ。丸シムル  
ナリ。俗ニ病ノオモクナルヲ。ゴウズルト云モコレナルベシ  
ね

よりか人ガラノオモ  
をといとけさやか  
ね

よここえて  
幸幸をハ人ノヲ呼フ時  
ニ唯ハト發ル辞ナリ  
ね

ひふとれ十分ニ思  
ヒ居ル  
ねほしおきてけ

れ音テハ助辞ナリ。オボレ  
オキケバ。こノ類多シ  
ねまひとまふ

蘭心ノ中ニカケハハナシ。人ハ何カ  
トイヘドノ意。此詞誤テ下ニ重出  
契注ヲノス互見ス  
ねまひとぢめん

榎思フヲヲ  
果レ終ル注ニ榎奥ナリトイヘリ  
ニオフナゲトイヘルト同シク  
ねふなま

ツ、ミカクスツモナク。ウチアケテ  
思慮モナク。ツミカセテ云フ  
ねほらげ葉オボロ  
ケオフデハ

カヨヒアヒミ玉フモカタクヲトアリ。契之。此オボロゲ。ヨノツ子ナラ  
ハオボロミテハト云ベキ所ナルヲ。事タガヒタルヤウニ聞ユル所

細流ニオホロケナラヌナラヌハトナラデハトナリトアルハ。注ノ初ヲコ。ニ  
オカハ叶ズベケレドサニハアフ又初ナリ。オボロゲハ必ズノ義ナリ。

マレニ必ズナラデハトイヘル心ナリカヨヒアヒミ玉フハカヨヒア  
ヒテミ玉フト心得ベシカヨヒテ相見タフトハ心得ベカラス

ヲ

ねもぎらひ

チゴノオモギラヒトアリ。小見ノ知ラヌ人ヲ見テハツカレカルヲ云ナリ

ねもひらまなまき

イトウタテ思ヒクマナキ御コカナトアリ。契云源氏ノアツリナ

ルミデ御心ヲツケ玉フヨトシ

ねも

サ

サル世ノオモレトアリ。時ノ望ミアリテ物ヲオサヘレヅムベキ徳ノ

アル人カラ

ねとなふめれ

其事ニタニレシレテ成人ノサニナルニ

ねやめけ

匪父母ノ喪ヲ云ケウハ孝ノ字ナリ。唐土ニテモ俗語ニ孝ヲ掛ルトイハハ喪

服ヲキルトハ契注ニ親ノ凶ナリトイヘルモ亦通ズ

をこづり

ヲコヅリトラシノ心ニテトアリ。契云

誘ノ字ヲ日本紀ニヲコヅル氏ワカヅルモヨメルスカシアザムク意ニ六帖第五思煩フト云題ニハダ入ノヲコヅリ竿ノアヤウサニウケヒ

クノカタクモアルカナ

ねすまにかんへきあ

さをと

契云古語拾遺云天鈿女命古語天乃於須女其神强悍猛固故以為名今俗強女

謂之於須志此縁也オフニレハ此注ノ意ナリオホスレカルベキカナトアル本ハコレヲコロエカ子テアラタメタルニヤ

ねこ免て

イトハカナクオレコメテノ玉フトアリ其事ノ是非ヲタサズシテオシツ

ケテイねとな

成人ノサニテ篤実ナルナリ

おま

子タミノオソロレキニ

ふれて

櫛オチアフレテサスラヘントアリ契云フレハハフレニ同シ崇神紀ニ溢ノ字ヲハフルトヨリ

ヲ

コレニテアフルト同シ茂ナルヲ知ベシ。アフレハ世ニハナレ出タルナリ。流落ヲ云 **ねとひや**

**ふ** 寄ワガ心ナガラオモヒヤルカナク契云此思ヒヤルハ思ヲ遣ナリ。石

葉ニアミタオモヒヤルトヨメルハ皆コレニテ想像ヲオモヒヤルヨニテヨソノヲサツアラシナドオシハカルヤウニヨメルハ万葉ハ

一首モ **ねとぶら** 契云万葉第廿三ナシ **ねとぶら** ハカヘレハオモカクシ

スルモノカノニツキテニクノホレキ君カモ琵琶行云猶抱琵琶半遮面 **ねとぶら**

**ふ** 習高 **ふ** 声

天地 **ねとぶら** 和禁中ノモノヲ入ル所ナリ。内蔵寮トハ異ナリト見

エタリ。今ノ御小納戸トイフが如シ **ねとぶら** 注ニ鳥部野ヲ云ト契云。和名鈔ニ愛宕郡ニ鳥戸

ノ外別ニ愛宕 **ねとぶら** 帝オホトナラチカクテフミドモナド見至ラ

ツイテトイヘリ。大殿海ナリ。アノ綴ナニテ即灯火ノ。契云。アヲ約テ。ナトイヘルハ吉野ニアルト云ベキヲヨレノナルナト云ニ同シ。

ハ油ニテトモスモノナレバ。アブラト云。和名ニ灯蓋ヲアブラツキトカメリ。万葉ニ灯ヲアブラヒトイヘリ云。此灯ハキリ灯蓋キタ

灯臺ノ類ヲ云ナリ。結燈臺ハ。儀式ノ時庭ナドニテトモス。 **ねとぶら** 原オキチキリ玉フヨリ外ノナレトアリ。契リカタラヒ玉フヲエジトシ

契云。水原抄等ニ奥中河トアル説ハ大ニ誤ナリ。引トコロノ哥ハ

万葉第廿二ニアリテ。我吉奈我河波トカケリ。日本紀第廿八云。男依等與近江軍戰息長横河破。延喜式第廿一。諸陵式

ヲ

云息長墓舒明天皇之祖母日廣コレヲ引合テ考フルニ近江國坂田郡ニアル息長河ナリ万葉ニ大示我トカケルモ長ニテ中ニアラヌ證ナリ

ニホハ水鳥ニテ息ノ長キモノナレバ枕詞ニオケリ。おくまより

たるや紫スコシオクワリタル山住モセテ。サハ海ヅラニ

オクニヘテオクニケテナドヨメル。今ノ詞ニオナジ。おほえ

どの大江殿ナリ。難波ニアリ。伊勢斎。おほいと

此大炊殿ハ食事ヲ煮タキス。所ニテ。今云ダイドコロナリ。

人倫 支躰 小よび奥オヨビトツラヒキヨセテクヒテ侍レト

指和名由比俗云比与比。季指和名古指。比小指。第五指也。ラレ

をごめきて鼻ノアタリヲゴメキテカタリナストアリ。笑ヲコラヘタル躰。シヲゴメクハウゴツク

ト云ニ同シ。おもと婢ナリ。俗云コレモトノ類ナリ。又次ニ此

微動ナリ。おもとオモト。イヘルハ。老タルゴタチノコト。コ

タチトモ。オモト負オキナビタル声ニヌカヅク

トモイヘリ。おまなび北山ニチニナニガレ侍トイフ

声。おこなひびと所ニガレコキオコナヒ人侍ルト

アリ。行。おせあふ末井ダケハタカウ。オゼナカニニエモラ

人ナリ。おせあふトアリ。背ノナガキナリ。女ノヨカラヌ

スカタヲ。おとやう猶シモガチナルオモヤウハト。おほ

云ナラン。おとやうアリ。下卑タル面躰ト云。おほ

ヲ



きみそらた 夏アザレタ大君スガタトアリ。親王ノスガタナリ。あは

よきびと 葵凡人ナリ。契云。後撰恋四忠貞君ガ名ノタワニトガナキ身ナリセバオホヨソビトニナシ

テミ 柳老人ノをさめをか

ハヤウダ テシリオヨビ玉フニレキヲサメニカハヤウドニ

女ノ字ニテ日本紀ニ専領ニ字ヲタウメヲサメヨトヨメルハ老女ノヲ

シラ。マカナヒ女ナリ。タウメト云モ。専ノ字ヲヨミテ老女ノ稱ニスルヨリ云

をんかべた 王貴人ヲシテト

人々トアリ。女別當ナリ 王貴人ヲシテト

おろな オウナニナルニテ過ニケルヲトアリ。契云和名

無奈。姫ハ枝ノ假名ヲ用テ。其意カハレリ。老女ヲ枝無奈ト云ハ

二十ニ歳ナレバオトナレクヨキ 夏おーことども 夏ト

なりおもなれて 幸人ノ我ヲレタレム故。あは

おも 蘭ハ嫡女ヲ云ヘリ 女兄弟ノ内ノ大ア子 おもておのん

かたなく 榎恥カレク面目ナキサマナリ。世上へ

人たらし 葉嫡男ヲ 太郎ト云 おはわきびと

ヲ

柏 朝廷ニ  
ツカフル人ニ

おもひおよびづは

筈ス井リヤ  
ウカホナリ

おもひおよびづは

よよ

霧 御心ユツ。鬼ヨリケニト。オモハレザマニニクケモナ  
ケレバトアリ。心ツヨキヲエヘリ。ケトハ日本紀万葉ニ

殊又異ノ字ヲヨムハ。怪ノ字ノ音ヨリ。轉用シタルナルベシ。伊物

ニアリレヨリケニモノゾカナシキトアルモ。アリレヨリ殊ニノ意

今モ鬼ヨリハ殊ナリ。契云。後撰恋五三。一条ガモトニイトナニコヒシ

キトイヒニヤリタリケレバ。鬼ノ画ヲカキテヤルトテ。一条ハ恋シクハカ

ケラダニミテナダサメヨワガ打トケテ忍フカホナリ。返シ伊勢ガケ

ミレハイト。心ヅニドハル。子カ。ヲヌケノウトキナリ。ノリ云。

おもひおよび

寄 女ノ恥ラヒテ  
顔ヲカクスナリ

おもひおよび

こ

舟 オヤノカフ子ハ一ツセキ。モノニコソトアリ。親アル娘ハ心

ノミ、ナラスライヘルナリ。石葉土三。夕ラチ子ノ母ガカフ子ノ

ミユゴモリイブセクモアルカ。殊ニアハステ。トイヘル哥ノ詞ヲトレリ。

契云。或説ニ。中宮ノ御イサメラ所セキトハ。云ナリトアルハ誤レリ。

列哥ノ心ヲモテ見ルベシ。但本哥ハ親ノ

マモル娘ヲヨソヘタリ。今ハ下ノ句ノ意ヲ用ル。もとこ

此女ニノ宮ノ御ヲトコニヤトイヘリ。夫ナリ。殿トハ

又ヲトコスルトイヘルハ。夫ヲミウクルライフ。

服食  
器財

おもひ

相 大床子ノオモノトアリ。御膳ト書テ  
オモノトヨムナリ。朝カレヒハ女房ハイゼシ

レ大床子ハ殿上人ツトムルナリ。但シ朝ガレヒハ。カリソメニメス。

大床子ハ礼ヲトノフル。膳ヲオモノトヨム。飲食ノモノヲ云

ナリ。膳トテ今云ラレキ。御衣

アレウチナド云モノハ非ズ。おもひおよび

ヲ

あげのてうど

昔ハ女御更衣以下常ニ髪ヲアグル本儀ナリヨツテ髪アゲノ調

度ドモラ廣フタニ入タルナリ。鉸釵トナリ。サレグレノタク

ヒニテモアルベレ。内ノ女房ハバレノ時ハカミヲアゲルトテカニサ

レナドレテ髪ヲ

イタキヘテグル

折櫃ト書テ魚鳥菓子ナドヲ入レテオクルモノヲ折ト云

フ。一折ナドモイヘルハ此折ニ入ルノ義ナルベレ。モト薄キ板ヲ

折テ釘ナドヲ用ヒズ。ピントナセルヨリノ名ナルベレ。又

コモノハ竹籠物ナリ。竹ニテ作レリ。皆食物ヲ入ル器ナリ。おん

よそはひひ

帯衣類ヲサレテイヘリ。おんくたもの

シカレヒ。今云クワレナドモ云ナルベレ。饅餅ノ類ヲクワレト

云。古書ニモ見エタリ。唐土ニモコレヲ菓子ト云。モ見エタリ

おほひちアトさはくえち

困大ヒチ

チノ笛ナド。オホコエニ吹アゲツトアリ。今ノ篳篥ヨリ大ナ

ルガ昔ハアリケルト云ヘリ。尺八モ一尺八寸ニキリタルニテ。樂ニ

用ヒ

タリ おんゆ

明思ヒナグサテ。御ユナドヲタニニ井

レトアリ。湯トハ藥ノコナリ。下ノクスト云

二所ニ

を志さ

注ス

上古今名ノ

おほひち

夏オホニオホ

ツボトリニモ仕

ラントアリ。イカナルイヤレキワザラモ仕ラントイヘルナリ。契云

和名云。周礼注云。藪謂清器。虎子之屬也。今按俗語。虎

子。於保都保清。師乃波古。コレニヨレハ大虎子ナリ。河海

ニ尿壺。花鳥ニ大壺。院式。尿壺ノ字ノ出所イマダレラズ。清

ヲ

器ハ世ニキタナキヲ云。宇治拾遺ニモアル女ノ人ニ曆ヲカセケレバハコセヌ日ト云。アタカケルヨレアリ。レノハコニテトレハキタナキ名ライハレトテトルモノ、名ヲモ略シテサモ云ニヤ已ヒ。レノハ私シ密ミナルヨレ類聚雜要ニ見エタリ。今云。ヲカハルノ類。松人めやの志。免れアヤうめを

有。梅ミレメハ御目ニ加味ノ方リヤウノ方ハ本方ト加味。万ト兩方ナリ。ダキモノ、黒方侍従ナリト自ヘリ。

おほんつさ。菜ツキハ椀盤ノ類ナリ。カケバンニノスルナリ。をよみ

幻。十一月中ノ卯ノ日。新嘗會。辰ノ日。豊明ノ節會ニハ山藍ニテスレル。小思トイフモノヲ着スルナリ。大嘗會ニモレカリト注セリ。ヲイニノイヲ略シテ。松ヲひつさヲこのことヲミト云ヘリ。又小斎トモ書リ。

然。文ノカキサマナリ。チラシカ、ヌレテ直サニカケルナリ。おと志がけ東コニオトシガケノ高キ所ニミツケテ。ヲイレ玉フトアリ。注ニ山道大トノ高キ。所ヨリヒキ、所ヘ下ルナリトイヘレド。直衣ノスソノ出タルヲ引イル、ナレバ山道ノコニハアラサルベレ。車ノ中ノモノナルベシ。

わ

虚詞。人。事。わりなふさ。困分チナキナリ。ト我トノワカチモナキライヘリ。ジニセツニ思フ

トラレハ人ノ思フ前ヲワキ。マヘズ。ツニオモフトナリ。わたと志もの。眞実ノ御心ト注シタリ。今ノ俗ノトツテオキノ。ホニサウモノナド。云ヘルト同シ意ナリ。われこの乃け

⑦

志イト、タユケニテ。ワレカノケレキニテ。フシタレバトアリ。

ミヅカラワワレカノカトイフヲ畧シタリ。病ヨワリテ。我カノカ。

な、かた、貞カワナ、カルトアリ。コ、ハ手ノフルヲ云。 わら、ハ、や

ふ紫ワラハヤニワツラビ。玉ヒテ。ヨロツニカチナドトセ わ

アな、さ、よ、ハ、い幼少ナルヲ云。小児アレハ何ノワ

わ、ざ、と末ワザト琵琶ハヒケド、アリ契云。万葉ニワ

ヒカヌ心ナラバ此業トノ割ズサレゲニテト云。上ニ下シテ置べレヌ

ワザトビハ、ヒケケル  
ノ語顛倒セリ  
わら、ハ、よ関ワクラハニユキアラニ

クヲハト、邂逅ナリ。思ヒモヨラズト云ガ わざ、み、の、け

如レ。思ヒガケズ行合ニ近江路ヲヨセタリ  
一玉ケウハ童人ザ、ノワラ、カニテスレ

う孝ナリ わら、か、たカク聞エ玉ヘハナリトアリ。

契云。万葉第八玉ニヌキケサテタワム秋羊ノコレワ、ラカニオケル

ル白露。此歌ワ、ラ葉トイヘルハ。末葉ハ後ニ出レハ。糸ヲカナル

心放カクアルニヨルニワ、ラカトイヘル重点ノ所ヲ  
タガヘテ。ワラ、カトナレルニヤ。俗ニワツサリト云ルナリ。 わ、さ、

ほ、め梅自 わ、さ、の、は菜ホコル わ、さ、

も、あ、ら、でオドロキテ我身アルヲモ

ワワスレタル如キナリ

天地時候

わただどの

相廊ナリ。廊ハ宮ノ中ノ徑來ノ道ナリ

わたつこ

明ワタツミニシナエウラフレトアリ。河海ニ海底ヲワタツミト万葉ニヨメルヨレアレト。一ノ巻ニテワタツミト点セルハ誤ナリ。七ノ巻ニワタノソコトヨメルヲ正トスヘキヨレ契説ナリ。ワタトハ渡ルハツハ助語。三ハ海ナリ。ワタルウミト云ラワタツミトイヘリ。北國ハ山ヲ越テユクガ故ニコレノ國トイヘル。如ク海ニワタルト云コトバラソヘタリ。ワタノハラナドスベテ海ライヘルナリ

人倫

わかばはづは

歸オノレコソト

わかるもの

上手ハイトイキホヒコトニ。ワルモノハ及バヌ所オホカンメルト。僧カクノ下手ナルヲ云ヘリ。わかんとは 末ウチ 男モ女モワロモノハトアリ。カレコカラヌ人ヲ指テ云。わかんとは ニヤフ 男モ女モワロモノハトアリ。カレコカラヌ人ヲ指テ云

フワカントホリノ兵部大輔ナルガムスメトアリ。王孫ニテ姓ヲタラサル人ヲ云ナリ。詞ノ義未詳。旧説多クハ用ヒガタレ契云物語ノ中三四所ニアリ。宋ニ至テ其注異ナル所アリ。河海ニ王家無等論トカケル本アリ。甚非ナリ。論ハ倫ノ字ヲ寫レ誤レハナリ。世雄無等倫。妙智無等倫等皆同シ。サテ此王家無等倫ノ義。モノニ見エタル證ナクバアタルヘレ見エス。モシ其義アラバムノ字。バ子スレテ。ムトヲリト下ヘ付テヨムベキ理。百濟王。禅。廣ノ末ヲ。百濟王。某乙ト云ケルヲ。畧シテ王ト云ケレハ。王家トイフベシサテソレヲ音便ニワカントモイフベキハ。催馬樂ニ我々ナト云例アリ。トホリハスガノ意ニテ。王家ノ裔ト云ナドニ。ヤ下畧。 わらはずわじん 零 童ニテ隨身ノ役ヲツトムルナルヘレ。隨身ハ 榎 人ナリ。劍ヲ帶シ弓矢ヲ持テ供奉スルモノヲ云ヘリ。 わらハけ 榎 イトヒサキワスル

ワ

ニトアリ。童氣ナリ。氣ハ氣色ニ  
テ。子供ノヤウニオトナゲナキ  
イヘリ。ワウケハ王家ナリ。  
天子ノ御子孫ラレキヲ云。

生植 気形 わらびつくぐくし  
寄ユレハワラ  
ハノ供養シ

侍ルハツホナリト  
テ奉ルトアリ

服食 器財 わごん  
夏和琴ナリ。日本ニテ出来タル琴也。  
花鳥ニ最前ハ弓六張ヲナラベツルヲウ

チナラシヨリ和琴ト云モノヲツクリ出シタリトモイヘリ。  
契云弓六張ヲベテ引ケルヨリ起ルト云ハ。無明抄ニ出。わご  
のあつもの 菜年賀ハ正月ノ子日ニ祝ル故若菜  
ヲ用フルナリ。オタリモノニモスルナリ

ワカナハツムト云故。此後猶  
年ヲ擡玉ヘト祝スル義トゾ  
レニトアリ。スノコハ今云エシナリ。又臺ワラフダサレ出タレバズレ  
ノ下ニツビ居テトアリ。ワラフダ和名ニ草褥ナリトアリ。今云  
圓座ノフ わうそん 寄ワウバンナトハヨノツ子ノヤウニ  
ナルベシ 脱飯ト書テワウバント  
ヨメリ。コハ今云膳部ナドナリ。  
後世ニハ形當ナトヲモイヘリ

か

虚詞 人事 かーこころ  
相カレコレト云詞。日本紀ナドニ  
ヨミセタル字一ニアラス。賢貴戚可

畏等ノ字ヲヨミセ。又恐字ヲモヨメリ。各ソノ文、  
たぶけ 恐ニ随テ解スベシ。又善字ノ意ニ用タルアリ。ち

カ









潤 字音ナリ。カバラカハ潤ノ 時々カクロミ侍 ちくろへ シホドハトアリカ名  
 字音ヲヤハラゲテスナルベシ  
 トエラノベテカクロヘトエヘリ。ロヘノ及リレナレ  
 ハナリガクレシノビテノコノナリ。陰比 カキ 兼カ カキ のし  
 カレノニミ見レ侍ルボトニトアリ。速クシクナルシガレハ 離  
 ノ上畧ナリ。ワカレハナル、コリ出テ疎遠ナルヲカレド、イヘリカ  
 のやかーからず カ、ヤカレカラズイラヘツトアリ。  
 かす 霞ハモノヲアラハニ見セヌモノナレバ、 力  
 た 君スコシカタエミニテサルコト、ハ思スベカメリ、 互みて トアリ。カタエミハ、ホ、エハニ同シサレハ尤ノ同カ  
 ら カラウジテケフハ日、ケレキモノホレリトア う リ。ゴハ長雨ハレタケタイヘリ。今ヤウクハ ド テ

トニト云カ如シ。辛ハ 辛 辛若ノ意ナリ。 辛 辛若ラヘテヤウクニト云ヘル河ナリ かど かな な 子 み ハ  
 あ ヒトカド見所 ら ナキニアラズ、 ず かい ひ ひ く カイヒクツミオ  
 琴テナドヲヒクニイヘリ。 カイニミナトハニギシ かい 玉ハサリツルヲナレハト ま み 子 み ハ  
 カイハカキナリ。キイ相通 カ い ま 子 み ハ  
 アリ。注ニ垣間見 万 關トアリ。契云万葉ニ垣間見ナシサレト日本  
 紀ニ視其私屏ヲガイニミトヨメルモ心ハ垣間見ニ關ノ字ヲカイニ  
 ミトハ何ニヨメルニカヒ垣 一 かん ち セウソコフニニモガニナトイフモ  
 間見ノ字真名伊物也 出 かん ち ラカキマヒズトアリ。カシハ假  
 名ナリ。日本紀ニ文字ノ字ニ 真ニ注ニカ  
 ナトヨメレハカナハ 假 字 ノ 後 シ かん ち は かな は 子 み ハ  
 頑愚ノ心オロカナル心ナリ。ホノ字清テヨムベシ。河海ヲサナクカタ  
 ナリナル心ト云。イカバカタハ伝祖カタクナ、ルダニモアルヲ源ハ

カ

イカバカリトシ、契云メノトナドヤウノ思フベキ人ハアサミレウマホニ  
 ナスモノヲトミレテイトオモタ、レウトツツケテイヘリ、万葉ニ左右  
 又諸手又ニ手トカキテマテトヨメルハ、真手ニテ、イッレニテモ一  
 手ヲ片手トイフニ對スル詞ナリ。コレニ准ラフルニカタホトホト  
 モ對スル詞ナレバ、禎ト注レ玉フ、不叶ゴグ舟ノマホニモトツツケ  
 タルニヨラ、言ハ真帆ニテカタホハゾハムキナル追風ニカタホニカケ、ホ  
 ハタ、レキ追風ニ真帆ニ  
 カクル心ニヨセテ云詞カ野下 **かいなで** 末オシ、カサ、カ  
**と** サヤウノヲカシキカタノ御カサヤドリニハエシモヤト  
 トアリ、雨ヤドリナリ、ゴレヨリタバヤドリノフニ用ヒ、  
 雨ニ用 **かいひそめ** カイヒツメ人ウトクモテナレ玉ヘトアリ、  
 ナレ **かいハ發語、詞ヒツメハ隠ル、意シ**  
 人ニカク **かく**、カクイ玉フ、多カリトゾ、恨キ、カ  
 ルナリ **かく**、コエ玉フトアリ、隠レ玉フナリ **かど**

あはもの

命婦カドアルモノニテトアリ、今 **あは** 子

サメカチナルニナドアルガチト云 詞前ニモ所々出タリ、契云和名ニ  
 周易、說卦云、其於木也為堅、多心、師說多心謂奈賀古可、  
 遲、何がチト云詞、 **あは** 神ニダイトカタナリ  
 コレニ准ラヘテ知レカ、 **あは** ニナニトアリ、十分ナラ

ザル **かけ**、カケ、クモカレコケレ氏トアリ、祝  
 ナリ **か** 詞ニイヘルコトバナリ、神祇ニ多ク用  
 フ、言ノ葉ニカケシモ忍レタトイフ **かへ** セメテカハサヒミ  
 義シ、クハムノ約言シカケシモシ **かへ** ウレ玉フトア

リ、復奏 カガ、**かへ**、サヒノ及リシガハス復ノ字ナリ、コ、ハ致、  
 仕ノ表ヲ上ルニサメ玉ハヌラ、オレカヘレテマウレアグル ヒテナリ **か**  
**くづす** 里 **か** ムカレガタリモカキクツストアリ、ツモルト云  
 ヨリ、クツストイヘリ、以モレル物語ヲ一カヨリ

カ

イヒクツスサラニカロメわろめろろぜらるロウゼラル

ニコソハトオホレナスニトアリ。ナオホヤケノカウ  
輕シレヂナル人ハトアリ。嗚セラルルハハカカ

考詞ナリ。上ヨリノ御トガメライトカウザ  
ウケタルナリ。ツニアル人ライフナリクナル名ラ

トリラトアリ。ヨキ名ヲルトイヘリ。カカカななでののこ

ころやアアばばののここよよ  
琴ヲヒクトイフマデニテ  
下手ナルヲイヘリ

かこちてヨノ御遺言ヲカコチテトアリ。文集ニ託、  
字ヲカコツトヨメリ。借詞スルヲイハシカコツケルコカ

こよアオホヤケノカレコリニテトアリ  
勅勅ヲカウフルヲイヘリ  
かかなな

けき

洩住吉ノ松コソモノハカナレケレトアリ。是ハ哥  
詞ナリ。惟光ガ住吉ニヨセテ源氏ノ榮華ヲ

ヨメル哥ナレバ此カナレキハヨロコベルヲイヘルナリ。カナレキト云詞

ハ悲哀ヲ云フ。勿論ナリ。万葉集ニイトホレキ。意ニカナレト云ヘ

ル所多シ。古今集ノ序ニ露ヲカナレム。此物語ニカナレウスルコ

哥ニツナデナレモナドイヘルハ淮南子ノ注ニ哀猶愛也ト見エ又

字書ニ哀憐也ト注セル意ナリ。可憐ハたえなるま

ヲアハレ氏オモレロレ氏ヨメハヨロコフ氏轉スシカカたたええなるなるまま

ア松イイタタウウカカリリガガリリ玉玉フフトトアアリリカカリリ  
ガガリリハハカカララガガリリナナリリ  
ラリルレロ相通ニテ幸カハア  
ガルトハタルシムヲ云  
カカノノトトノノハハミミカカゲゲニニカカタタカカ  
ケケテテトト思思フフトトアアリリテテト

(カ)

アリ契云カタケテトハタトハ家ヲタヨリニヒサシヲ作ルガ如ク彼  
殿ノ徳蔭ニヨルヲイヘリ思フトアリテトハ思フトイヒテノ心  
かこころも

ニオソロシク見ユルマデフリ  
玉ヘルナリオモヘト云ニテ知ベレカ  
たぶふ

ト疑フナリ梅カタフキツニ井タマヘルツトアリ契云此様カ  
タブク此モノガタリニアマタ所アリ俗ニモ不審ナルヲアル時頭  
ヲカタブケテ案ストイヘリゲニサルナリ如意輪觀音ヲ手  
ヲモテ頰ヨ支ヘ玉ヲヲ思惟ノ手トイヒ歌ニツヅエツクトヨモ

皆此類  
類こかみさび  
キヨゲナル人ノハツカビモノノレクカミサ  
ゴテヨミアゲタルトアリ詩ヲヨミレナリ古

雅ナルヲカミサビトイフ詩ヲヨム声ノ古風メキタルリスベカミ  
サビナトエザビノサハ助ケ詞ニテビハブリト云ラ及セバビトトルヲ用

ヒタリ猶  
下ニ再出ス  
かけんもゆ、ま  
臣カケテイハ  
ニモイマハレキ

ナリガケマクモカシコキナド云ニ同シク  
詞ノ葉ニ掛テイシモユ、シキト云ルナリ  
かへアとやう

賽ノ字ヲヨニテ報祭ノ義ナリ  
又復奏ノ字ヲモカヘリウレトマ  
かやもくニテ

ラビタレバカヤスクカマヘタリトアリガハ添タル詞ナリ  
埃囊抄ニ欽明紀ノ隨心ノ字ヲヨセタルハ古訓ナル  
カナ

こゝろだく  
細流ニサヤウナルカタノ心ツクシナリ  
ト云ク契云片心ナルベレ俗ニモ片心

ニカ、ルナト云フ言ハ片思片寄片目片耳ナドノ類ナリ俗  
ニ片意地ナリトイフニ此片心ハ同シカルベレカタハ方ヨル義

かちまけのらんざう  
僅カチマケノラン  
ザウトモノ、レルモ

カ

トアリ 競馬雞合ナトノ勝負ノ **か、ね** 夏キヤキガ子ノ姫

勝方ノ **か、ね** 大鼓ヲウツナリ **か、ね** 君トアリカ子ハ豫ノ

字ノ美ニテ凡其モノニセシト前方ヨリ心アテニナレオクヲカ子テ

ト云フ如ク后ニツナヘシトカ子テアテオク姫君ナリ伊物ニム

コガ子ト云ヒウツ糸物語ニ東宮ニ立玉フベキヲバ、ッ

坊ガ子トモイヘル皆同シ哥ニカ子テグミユト云モ同シカ **ねこ**

也 是モ豫言ノ字美ニテカ子テヨリ **か、やの志** 言ヒオケルコトバラ云ナリ

ハレガ、 **か、よ** ハレガ、 **ねる** 音後ニ備竹川ウタヒテカヨレル姿ト

シキ **か、よ** シキ **ねる** アリカヨレルノカハ添タル言ニテヨワキ

ヲカヨワキナド **か、ん** 幸カシダウハゴナダザニナニカ

イヘルニ同シ **か、ん** ラレト思フ多ク侍ルナドケシ

キハミ玉フニトアリカシダウハ人ト我トノ中ラタチハナルヲ云今

親子ノ間ニ多クイヘリ **か、ん** 勸當ノ字ヲ用フ文徳実録ニ本朝

俗為君父擯斥曰勸當ト云 **か、ん** 勸ハ勸弁トツギキテ物ヲカシガ

サバクヲ云ヒ當ハ其罪ニ應シテ其刑ヲ當ヨリ云フナルベレ此

ノ言ニ御カウジヤソハミレト申レ玉フニトアルカウジモ **か、ん** 勸事ノ

字ノ音ナルベレ後撰集ニ父母侍リケル人ノムメニレノビテカヨヒ

侍ケルヲキツケテカウジセラレ侍リケルニト **か、ん** 勸事ノ

アルモ今ト同シクセツカシレルヲ云ヘルナリ **か、ん** 勸事ノ

カ

蘭 ナンギナルヲカナトカナレム言ナリ **か、げ** カゲ **のけ** カゲ

詞ノ先ヘイヒ出セリ カタレヤ我心ヒトツル **か、げ** カゲ **のけ** カゲ

カゲノナリ人ノ妻ナドニテイイリ又心ノ内ニカクスヲモ云カ

くごん ラウツモリテコソバガクゴニヲモトテ立玉フトアリ格

かた 勤トカキテ君ニツカフニツルヲニオコタラザルヲ云

種カタルヤトイフニ同シ

コレモ詞ノハジメニオケリ

かみなまよさ 梅カミナキ、ハノ御手トアリ。其上ニ立ベキホドノ人

ハアルミジキホドナル 第一ノ能書ナリ かごあせ 深キ浅キラカギワケ玉フトアリ、タキ

モノ、ニホヒラ鼻ニテ カギクラブルラズナリ かもめさたる 葉オノ字ラカト

トヨメトゴ、ハ 稜威ラカド、ヨムカド かしひ ニテ、キツトシテリツ、パナルヲエナリ かしひ

く 蔵カヒクシタツアヒシラヒキコエ玉フメトアリ、契 云カヒクシタクトハカヒアリゲノ心ニ常ニイフカヒクシ

クハ、其事ニヨク達 シテナツマ又方ニイリ

天地 候 かご 貞人シケキヤウナレドイトコゴカニ侍 ルトアリ、今俗ニカゴリトシタヌナド

が如シ又カゴヤ 紫山ノ かつみのたむじ サクラハニ

カトモアリ タサカリニテイリモテオハスル、ニ、霞ノタ、ス、ヒモ カ

オカレウミレトアリ 霞ノカ、レルケレキラエナリ カ

ろ 賀カイシロナト殿上ビト地下モ心コトナリト世人ニオモハシタ ルイウソクノカギリトノヘサセ玉ヘリトアリ、注ニ垣代ナリ、

警固ナリ、垣ニ立テ、此内ニテ將衣東ヲ着スルナリ、契云、此説 オボツカナレ、ヤガテ下ニ木高キ紅葉ノ陰ニ四十人カイルロ、ヒ

シラス吹タテタルモノ、子ドモニアヒタル松風ゴトノミヤ、オロレト キコエテ吹ス、ヒト云、咲花ノ説ノ如クナラバ、樂人ヲスベテ垣代ト

イフ敬、武烈紀云、立歌場衆、歌場此云、宇多我岐、続日本紀 云、天平六年二月癸巳朔、天皇御朱雀門、覽哥垣男女二百四十

餘人、五品以上有風流者、皆交雜其中、又稱徳天皇由我 宮ニシテ哥垣ヲ御覽シケルヲモ記セリ、行列スル、垣ノ如ナラ

カ



奇垣トイフ歟。今垣代トイヘル是ナルベレ。此奇垣ノ奇ハウタヒ  
モノヲスルヲ云ヒ。垣ハ其ウタヘル人ノ並べラ云ナリ。友垣ナド云垣  
ト同義ナルベレ。日本紀ニ帳ノ  
字ヲカイレロトヨメリ

かろこのう士さ 柙黒木ノトリ井ドモハサスカニカウ  
くレク見エワタサレトアリ。注ニ

神々レキナリ。オソレ 蓬カタモナクアレタル家ノゴダチレケクモリノ、  
ツレムベキサライヘリ。かたとなくあれしる

いへ 蓬カタモナクアレタル家ノゴダチレケクモリノ、  
ヤウナラトアリ。門モ垣モアトカタナクアレタルナリ。か

みさひ 柙カニサビニケル年月ノラウカソヘラレ侍ルニ  
トアリ。河海ニ 神閑神翁閑雅等ノ字ヲヨメ

リ。契云。万葉ニハ神備トモヨメル。尤備ナド假名ニカキテ字  
ナレ。閑雅ハミヤビヤカトヨミテ別義ナリ。神閑神翁ノ字ハ不

可用。神サビケルトハ斎院ナルニツケテイヘル詞ナリ 藤ニ、  
昔ノクヲ神サビタルトモイヘルハ神ヲ上ニイヘルナリ。かた

へ 玉ムカレ人モカタヘハカハラズトアリ。 カガハムカレニカハラ又ナリ。カタヘハ偏シカハ志ス

菜 河海ニ壁代又防壁ノ字ヲヨメリ。契云。和名欽ラ云縛  
壁。以席縛者。於壁也。漢語抄云。防壁多都古毛然縛

壁モ防壁モトモニタツコモトヨミテ。壁代ニハ異ナル歟。此今、  
按スルニ壁ノナキ所ニカベノカハリニスル物。布ナドニニスルニヤカ

このい ヨレアルカ、リノホドヲ尋子トアリ。カリトハ垣  
ナリ。カリノ反リキナレバナリ。コハ鞠ヲケルコトニイ

へリ。後世四本懸トテ。良ニ櫻。巽ニ柳。坤ニ楓。乾ニ松ヲウエ  
ルヲ云。按ニカ、リトハ何ニテモヨリカ、リ所トスベキライヘリ。鞠

ヲケルニヨカルヘキ所ヲ尋テシ。ハ 契云。 ヨキ日

カ

ナリトコレモ蹴鞠ニテイヘリ風 雲 かんよち 雲 坎日

モフカズオダヤカナル日ヲ賢トス 注ニ九坎日 不可出行トアリ陰

陽家ノ説ナルベシ サ、ヤカニ卷タルホクトモノカ かび ビクサキトアリ。徽ナリ。湿気

ニテ白キモ ノ、出ルラ云 人倫 相 又カシタチベトモ云上達

支体 部ト書ク。官ハ宰相位ハ三位 かんだちめ 更衣ト書テ。漢書ノ注ニ為休息易

以上ノ公 卿ヲ云フ かうい 衣之處亦置官人トアリ。仁明ノ御時

ヨリ始ルト 女御ノ次 かきたること 歸ホツキ声ノ云ハ

かたらひびと 末キニソナツカレキカタラヒ人

人トハ琴ノライヘルナリ。我カ相手ニスルモノナレバアチニカタラヒ

人トイヘルナリ。柏木ノ猫ヲ人トイヘルガ如キナリ。又 遷ニハナレ

相手ヲカタラヒ 人トイヘル本義ナリ かつちあるのぎ 葵カ

バカリニテカタチノ ウレハレキトス かつち 大礼ノ時天

一日カシタ ハル隨身 かつち ナ 泣ク時ノ顔付ヲ云

ヲ猶シカメテ。貝ヲツクリテ泣ケルトモ 見エタリ。カヒノ義未詳 かつち カ たらひ

松 凡帳ニハタカクレタルカタハラメトアリ。 かつち ソバ目ト同シ。横ガホニテ見ルナリ かつち カ たらひ

こち 雲 かつち トアリ。三歳ノ鬼ノモノイフセ、ライヘリ かんざ

カ

おもわう

**種** カニザレオモヤウノゴヒキコユル人ノオモカ  
ゲニゾオホエテメデタケレバトアリ。髪兵顔付ニ

かひほそアて

**乙** ヤララカヒホソリテ出玉フ  
道ニトアリ。カタチヲチメテ

カクル、カチ、ナア

**葉** 過シタルモカタナリナルモトアリ。  
年ノイキ過ル人モイダワカキ全

トイヘルナリ。ワカキ人ハイマタ  
ソロハ又所アル故カタナリト云

かそぶえ **紅** カハ笛フ  
ツカニテ名

声レテトアリ。注ニウツ  
笛ト云ハタチグエノト云 **かんなごわう** **ねもの** **橋**

ズガタリスルモノニイヘルハ巫覡ノ多クハ人ノ身ノ上ノヲオ  
レテイフモノナリ。夢ヲ判スル時ナホ以テレカリ。皆 **推** テコレラ

ヘ云ナリ。カントハ神ニテナギハ **神** 慮ヲナゴムルモノナリ。順 **和** 名 **乞** 盜 **屋** 名 **か** づら **ひ** げ

**推** 鬘ノ多クテカツラノ  
如クハヘレゲルヲ云ナリ

**生植** **かひつもの**

**ア** アドモアサリシテカヒツモノ  
モテニ井ルトアリ。貝津物ハアハビ

**ハ** ングリノ **か** **ア** **れ** **こ**

**榎** 鳴ノ子シタ **か** **ひ** **オ** **ナ** **ジ** **ス**  
ミゴニテイヘリ **か** **し** **ニ** **カ** **ヘ** **レ**

カヒノニエヌカナトアリ。カヒハ卵  
ニフカヒナクカヒヲソタリ

かご **と** **か** **ま** **ー** **る**

**む** **ー** **の** **こ** **ち**

**約** ツレトワガナキクラス夏ノ日ヲ  
カゴトカニレキ虫ノ声哉トアリ。此虫ハ

蝉 **イ** **ヘ** **リ**

**服食** **か** **ア** **れ** **お** **ん** **ぞ**

**負** カリギヌヲ云カリ  
キヌ **和** 名 **ニ** 布衣ヲカ

**カ**

リギヌトヨミテ狩衣ト云トアリ。モト狩場ニ用ル服トモ云フ。  
 有紋ノ布衣ナリ。一説ニ假衣ノ後ニテ私服ノ名トシ。布衣ノ字  
 フヨメリ。朝服  
 ニヤラサルノ謂ニカバアビ  
 紫篝火ト書テ。篝ヲ懸  
 テ火ヲ焼ラ云フ。史記ニ夜  
 篝火ト  
 モイヘリカモらけすわる  
 昔ノ上ニ十三居テカ  
 ラケニ井ルトアリ。酒  
 フノミカ  
 玉フシカ  
 ノ飯ナリ。又和名ニ強飯トアリテ。カ  
 蒸タル飯之昔ハ知ラズ。今ハ糗米ヲ用テカ  
 グレカ。ゲノ箱ナドトナリ出  
 タリトアリ。今ノミダレ箱ナリカ  
 カラトイヘルトテ。必シモ唐ヨリワタルニアラズ。其形ニヨリテイ  
 ヘルモノ多シ。○カラト云ハ。韓國之漢唐ナトヲ云ハ。後世ノミテ

日本紀ニハ漢ヲアヤ  
 角ヲモロコシトヨメリカ  
 是ハ凡ヌルクソソトテ。御アフギタラフトアリ。注ニカハホリハ常  
 ノ扇ナリ。弱ハ檜アフキナリト云ヘリ。或説ニカハホリハ今云  
 未廣ノ一ノ其形ノカ  
 縮チヂミノ羽ニ似タル名多クカ  
 へトカウゴノ相ヲヒトツサレ  
 ハトナリ。香具ノ箱ヲ云ヘリカ  
 注ニ昔ハ紵ハキヌニカ  
 ク。後ニ紙ニカケリトシ  
 テ。井ラヒ玉  
 キルモノトナレリ。水干  
 ノ上ノヤウナルモノナリカ  
 注ニ。夏。其。臺。ノ。上  
 フ多ナリ。注ニカガリ火ハ水ノ  
 上ナドニテ。遠ク多クモノトイヘリカ  
 注ニ。夏。其。臺。ノ。上

カ

たびなぶれ 幸ナガレトハタルニ かだけわ

た 植人ニ賜フキ又綿ナリ 御衣ドモカツケサセテアリ かうぶい 髪搔ノ義

名ニ 探髪 殿カニカキト 見エテカウガイハ其音便ナリ かなうす 梅鉄白ナリタ

かざー 注ニ老ヲカクス意トイヘリ かなうす キモノヲ搦白シ

ナリ 挿頭花フカサレトヨメリ又鬢ノ字 からも 七サルベキカ

ハホレタル魚ヲ云ナルベシ カサレトハ かなうす ハ目ノイトイリ

かき人 冠ヲ掛ルハ かなうす カナブニ見玉ル

トアリ 契云カナ文ハナダラカニテカヘリテ かられ

ヨミガタク又句読キモ 心ヲ着ザレハワキガ多シ かられ

虫唐ノ紙ハ モロクテ 朝夕ノ御宇ナラシニ モイカトテ カニヤノ

人ヲメシテ ゴトニ仰事玉ヒテ 心コトニキヨラニ スカセ玉ヘルニトア

リ 是ニヨリテ見レハ 唐土ノ紙ハ 昔ヨリノ モロキニ コソノ カニヤノ

ノ人ハ 紙屋川ノ 紙スキナルベシ 北野ト平野トノ 間ヲ 南へ 流ル川

ヲ 紙屋川ト云 此所ニテ 紙ヲスキ 始タリ

ト 置ニウルシ キカニヤガ ニナドモ 見エタリ

補 テヨリカニテ 卷ノ 次第ニテ

わ ワリナクニツ ハサセ玉フ 契云 ワリナクノ 注

ナシ 無破ハ 菅万ニ アリ のワリナクハ あひと コモレル窓

カ

ノウチレアリ人深慮ニヤレナヒソダツル心野ユクサキコモレルナリ内ニ  
オキテハリ契云尖齒ト注セルハ何ニ出ル字ニヤ日本紀ト見エズ

いさうわら 紫人ノカイリウワウノキヤキニナルベキイ  
ツキムスメトアリ契云娑羯羅ハ梵語此ニ

ハ海ト翻スレバカイリウワウハ娑羯羅龍王ナリイッキッ  
ムスメハ万葉ニキヌアヤノ中ニツメルイハヒ子トヨメルニ同シカ

アモここわのとどかくわひめのも

わのたア 蓬麴翁貌姑射の仙掖夜姫ノ物語トアリイ  
ツレモ古キ物語支ノ名ナリ契云伊勢集ニカラモリ

ガ道タツ子ワビテフセルラヨコヤヘトツル道ハ夢ニエトフラレヌル王  
ニガニアフト見エ子ハウツボ物語櫻上ニカラモリガ宿ヲ見ニトテ玉ボ

コニメラツケンコソカタハ人カナカクヤビメノ  
物語ハ竹取モ分タリクナルベシ

かーらかさあ

ア 匡契云搔首ト詩ニモ作  
レリ心ユカヌ時ノワザナリ ろアこれつ 梅契  
云瑠璃

杯ナリ和名云孫恂切云云甄時戦及俗語云都岐乃波夫  
器縁謂口邊也甄ハツキノハタニテ其注ニ器縁トアレバ器ノ字

ラツキトモ 葉ナドラカクオイラカニオホシク  
テ玉ヒケシトアリ河海ニ人ゴトニ老

ヨムキニヤ テ玉ヒケシトアリ河海ニ人ゴトニ老

ラカト心得タル欣ザニハアラズオビレタルヨレラ子ビレテナドイ  
フヤウナリ契云口老ラカナルベシ此物語ニモアタアル所老ラ

カニテハ叶ヒ子ビレタルノ准ラヘニテハ叶ハ又所多カルベシ竹取物語  
ニカクヤ姫ヲ恋タル五人ノ人々ニ竹取翁出テ石鏡ナドカタキ

ヲイヒケル時御子タチ上達部キテオイラカニアタリヨリタニ  
ナアリキソトヤ多ハヌトイヒテウシジテ皆帰ヌトアリ  
カキテ根比トカズ老ラカノ心ヲ用フベシ  
假名ヲタサヌ故此多ヒノヨト多シ

補

源語梯上 終

源語梯上ノ六十終

